

令和4年度
事業別決算説明

一般会計 歳出の状況

文教経済常任委員会関係

文化観光部

○事業別決算説明について

1 上段の表中の表示について

- (1) 執行額、翌年度繰越額、執行残額は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は「-」（ハイフン）を表記しています。
- (2) 執行額の財源内訳欄及び執行残額の内訳欄は、単位未満の数値（四捨五入してゼロとなる500円未満の数値）がある場合は「0」（ゼロ）を表記し、該当数値のない場合は見易さを考慮し空白としています。
- (3) 個々の数字は、表示単位で四捨五入しています。また、財源内訳欄は、それぞれの数値を表示単位で四捨五入し全体額との調整を一般財源欄で行っています。

2 執行残額について

執行残額については、大きく4つの理由に分けて金額を表示するとともに、具体的な内容を【執行残額について】に記載しています。

なお、原則として千円単位の表記となっていますが、執行残額が「0」の場合（単位未満の数値がある）は、円単位で表記しています。

※令和4年度事業が令和5年度に複数の課に分割された場合は、令和5年度所管課分の数値を記載し、下段【】書きで令和4年度事業全体事業費を記載してあります。

事業の概要以降は、令和5年度所管課分の事業について作成してあります。

(例) 令和4年度事業費(●●課) 48,000千円



令和4年度事業費(令和5年度○○○○課) 36,000千円
 令和4年度事業費(令和5年度△△△△課) 12,000千円

※令和4年度と令和5年度で所管課名称が変更になった場合、または、課等の名称が変更になった場合は、下記のとおり表現とし、事業を担当する令和5年度の所管課を作成してあります。

記入例 : 令和4年度は●●課で実施した事業が
 令和5年度に○○○○課に移管された場合

所管課等	○○○○課 (令和4年度所管は●●課)
------	------------------------

(単位：千円)

決算書 (P ~ P)	款 項 目	所管課等	○○○○課 (令和4年度所管は●●課)
事業名			

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
36,000 【48,000】						
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	

執行額、翌年度繰越額、執行残額の欄は、次のとおり
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)
 該当数値なし : 「-」 (ハイフン)

財源内訳、内訳の欄は、次のとおり
 単位未満の数値あり : 「0」 (ゼロ)
 該当数値なし : 空白

(単位：千円)

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
81,824	78,084					78,084
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,740			55	3,685	

【目的】

市民が気軽に文化・芸術に触れる機会や文化活動を発表する場を提供し、文化・芸術への関心を高めるとともに、主体的な文化・芸術活動を育むことで、文化の向上を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- 鑑賞事業来場者の満足度 95.0%以上

※来場者へのアンケートにおいて、公演の内容について、「良い」「どちらとも言えない」「良くない」の評価項目のうち、「良い」と評価した人の割合(鑑賞事業14事業の平均値)

○実施内容、これまでの経過等

- 指定管理の状況

導入開始年度：平成17年度

指定期間：令和2年度から令和6年度まで

指定管理者名：株式会社 NKS コーポレーション(本社：新潟市)

- 芸術文化事業の内容

(単位：人)

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	松山千春コンサート2022	1,405
	地人会新社「二番街の囚人」	323
	新潟県音楽コンクール	232
	スキマスイッチコンサート	1,371
	劇団四季「ロボットインザガーデン」	878
	中澤卓也コンサート	753
	林英哲&英哲風雲の会	321
	パパゲーノの愉快的な音楽冒険	120
	柳家喬太郎独演会	295

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

区分	事業名	入場(参加)者数
鑑賞事業	林家正蔵独演会	155
	スモールコンパクトパフォーマンス	
	川上ミネ	155
	本田雅人、宮本貴奈	166
	中井智弥	116
	佐藤ひらり	147
	小計 14事業	6,437
普及事業	ポルトガルギター&マンドリン(湯浅隆、吉田剛士)	575
	リコーダーとリュート(吉澤実、永田平八)	271
	和太鼓(上田秀一郎)	466
	打楽器アンサンブル(本間美恵子、倉澤桃子)	636
	落語(林家はな平)	349
	チェンバロ(笠原恒則)	231
	小計 6事業	2,528
創造事業	小川未明フェスティバル2022	845
	第4回上越マーチングバンドコンサート	367
	小計 2事業	1,212
育成事業	上越マーチングバンド育成事業	173
	上越シニア劇団活動事業	478
	上越文化会館 勝手にエンジョイコンサート	90
	小計 3事業	741
合計	25事業	10,918

※鑑賞事業：多様な市民ニーズを捉えた質の高い芸術作品を招へいする事業

※普及事業：アーティストが町内会や小・中学校に出向いて演奏等を行うアウトリーチ事業

※創造事業：新たな文化・芸術活動を創り出す市民参加型の事業

※育成事業：マーチングバンドや劇団活動などを通して、市民の文化意識の向上を図る事業

○施設の管理実績

・利用者数等

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計画	実績
利用件数	192件	690件	-	819件
利用者数	13,171人	52,503人	120,000人	60,092人

※令和2年度は、外壁改修工事等のため、4月1日から11月13日まで休館

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予 算	実 績
①収入	国庫支出金	-	-	-	-
	市債	386,300	-	-	-
	諸収入	291	647	-	-
	合計	386,591	647	-	-
②支出	指定管理委託料	49,304	75,982	72,408	70,803
	再算定による 増加額※1	-	7,774	4,200	2,595
	施設管理委託料	655	660	1,320	1,265
	設計業務委託料 等	-	169	-	-
	施工監理委託料	3,937	-	-	-
	報償費	34	50	39	34
	費用弁償	-	1	2	1
	消耗品費	-	268	-	-
	修繕料	3,008	2,537	1,177	1,176
	運搬料	-	-	-	-
	手数料	-	23	-	-
	施設整備工事	425,394	-	-	-
	備品購入費	-	-	48	47
	補助金・交付金	291	-	-	-
	エネルギー価格 高騰補填金※2	-	-	6,830	4,758
合計	482,623	79,690	81,824	78,084	
③公費投入額 (②-①)	96,032	79,043	81,824	78,084	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	7,291	1,505	682	1,299	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したものの

(参考) 指定管理料の増減額

前指定期間の指定管理料平均額 (決算ベース)	①	65,900
令和4年度の指定管理料 (委託料)	②	70,803
指定管理料の増減額	②-①	4,903

※令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用料金収入等の減少に対応するため、指定管理委託料が増加したものの

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
収入	利用料金収入	3,574	11,935	14,903	11,331
	指定管理委託料	49,304	75,982	68,208	70,803
	再算定による 増加額※1	-	7,774	-	2,595
	補助金・助成金	491	1,391	3,422	※2 1,559
	エネルギー価格高騰補 填金※3	-	-	-	4,758
	その他(入場料等)	1,907	9,135	19,449	17,457
	収入計 ①	55,276	98,443	105,982	105,908
支出 ②	57,479	98,393	105,982	105,794	
差引 (①-②)	△2,203	50	0	114	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額

※2 文化庁「劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業助成金」(対象事業：地人会新社「二番街の囚人」)、公益社団法人全国公立文化施設協会「地域コミュニティ創造・再生事業企画提案コンペティション入賞賞金」(対象事業：上越シニア劇団公演)

※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○目標達成状況

鑑賞事業来場者の満足度は98.2%となり、目標を達成することができた。

【事業の成果】

- ・鑑賞事業では、市民の文化・芸術への関心を高めるため、幅広い年齢層を対象としたミュージカルやコンサート、演芸などの舞台芸術の鑑賞機会を提供し、来場者の98.2%から「良い」と評価を得ることができた。
- ・普及事業では、アーティストが小・中学校や町内会へ出向いて出張公演を行う「アウトリーチ事業」6事業を18か所で開催し、身近な場所でプロの実演を気軽に鑑賞する機会を提供することができた。
- ・創造事業では、未明童話「黒い人と赤いそり」をテーマに「小川未明フェスティバル2022」を開催。中学生が表現力豊かな朗読を披露した。また、40人の市民が5か月にわたる稽古を重ね、小川未明童話を題材とした市民音楽劇「月の明るい夜に」を上演し、来場者697人が鑑賞した。
- ・育成事業では、市民が日頃の音楽活動を披露する場として市民ロビーを無料で開放し、2団体がコンサートを開催した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、貸館の利用料金収入や芸術文化事業の公演チケットの販売収入が当初計画を下回った。
- ・若い世代のニーズに応えるため、企画内容に合わせたチケット予約の受付方法や広報媒体を検討していく。
- ・建物や機械設備等の老朽化が進んでいることから、計画的に改修等を進め、安全で利用しやすい環境を整える。

決算書 (P144～P145)	2款1項14目 上越文化会館運営費	所管課等	文化振興課
事業名	上越文化会館管理運営費		

【執行残額について】

入札差金：建築設備定期点検委託料 55

その他：収支実績に基づき再算定した指定管理委託料及びエネルギー価格高騰補填金等の執行残 3,685

(単位：千円)

決算書 (P148～P149)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
5,052	4,728	250				4,478
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	324				324	

【目的】

市民による歴史資源の魅力をいかしたまちづくりを推進し、地域に対する誇りと愛着の涵養を図るとともに、歴史的建造物の保存と活用に向けた取組などを通じて、地域の活性化と文化の振興を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

歴史資源を活用した街なか回遊の促進と賑わいの創出 225

○令和4年度目標

貴重な歴史資源への関心を高め、街なかの賑わい創出に寄与する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 民間や市が所有する町家の公開

街なかの回遊性の向上や賑わい創出を図るため、市民団体等と連携して「越後高田町家三昧」に取り組むとともに、見学可能な町家の情報を収集し、市ホームページで紹介した。

(2) 雁木と町家の魅力の発信

高田城址公園で開催される観桜会や観蓮会に合わせ、市民団体等と連携し、旧今井染物屋において「町家ガイド」による雁木と町家の特徴等を解説するとともに、地域の歴史や文化の魅力を発信した。

○目標達成状況

市民団体等と連携して実施する「越後高田町家三昧」の取組を通じて、高田地区の貴重な歴史資源である雁木と町家に関する情報を発信し、訪れた人々に町家を回遊してもらうことで、街なかの賑わい創出に寄与した。

歴史的旧家連携交流支援事業 500

○令和4年度目標

市内に点在する歴史的建造物への関心を高めるとともに、地域資源の継続的な発信と活用に向けた取組を支援し、交流人口の拡大を促進する。

決算書 (P148～P149)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源活用推進事業		

○実施内容、これまでの経過等

歴史的旧家を活用し、地域資源の魅力発信に取り組む「NPO法人上越名家ネットワーク」に補助金を交付し、上越名家4邸の周知拡大を図るためのインターネット広告掲載や県内外の旅行事業者への営業活動などの取組を支援した。

○目標達成状況

NPO法人上越名家ネットワークの活動を支援したことにより、上越名家4邸への関心を高める取組が活発に行われ、歴史的建造物を活用した誘客を促進することができた。

雁木整備事業補助金の交付 2,065

○令和4年度目標

市民への経済的支援を行うことにより、雁木整備を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

指定地区における雁木の新築・修繕、雁木下通路の段差解消工事に対して補助金を交付した。

<補助率・限度額>

- ・補助率：1/2
- ・限度額：550千円

○目標達成状況

申請のあった8件の工事に補助金を交付し、市民による雁木の整備を促進した。

- ・令和4年度末までの地域指定及び補助金の交付状況

年 度	地域指定		補助金交付	
	件数 (件)	指定距離 (m)	件数 (件)	金額
平成16年度～令和3年度	25	10,543	145	58,899
令和4年度	1	231	8	2,065
合計	26	10,774	153	60,964

その他 1,938

- ・「寺町フォーラム in 上越」のオンライン開催
- 寺院群都市会議構成市の民間まちづくり団体による事例発表と意見交換
- ・歴史資源活用推進事業を実施するための報酬、共済費、旅費ほかの事務費

【事業の成果】

- ・市民団体等と連携して、雁木や町家、歴史的旧家の魅力を市内外に発信し、歴史資源を活用した回遊を促進することができた。
- ・雁木整備事業補助金の交付により、市民による地域資源の保存につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

引き続き、市民団体等と連携し、市内に残る貴重な歴史資源である雁木と町家、歴史的旧家の魅力を市内外に発信する取組を推進する。

【執行残額について】

そ の 他：雁木整備事業補助金の交付実績が当初見込みを下回ったことによる執行残 185
会計年度任用職員報酬等の執行残 139

(単位：千円)

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,191	3,037					3,037
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	154		37	54	63	

【目的】

市民団体との連携や活動に対する支援を通じて、市民の自主的な文化活動の推進を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

市民の文化・芸術活動の裾野を広げ、地域の「文化の力」の醸成を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 文化振興に関する情報の収集及び提供

市民の自主的な文化・芸術活動を支援するため、国・県などが行う新型コロナウイルス感染症に関連する支援事業や民間の各種助成事業について、市ホームページや文化・芸術活動団体が集う機会等を通じて情報提供を行った。

(2) 上越まるごと文化祭

市内各地で秋(9月から11月まで)に開催される多彩な文化・芸術の催しを紹介するリーフレットを作成・配布して市内外に周知するとともに、高い技術力や表現力を有する文化・芸術団体による上質なパフォーマンスを披露・鑑賞できる「プレミアムパフォーマンス」を開催した。また、出演団体の代表者が参加し、「子どもたちに文化・芸術の未来をつなぐために自分たちができること」をテーマにワークショップを行い、団体間の情報の共有と交流を図った。

期 日：令和4年10月2日(日)

会 場：上越文化会館 大ホール

参加者数：601人(鑑賞者494人、出演者10団体107人)

(3) 高田瞽女顕彰事業

高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアーの実施を支援し、市民等が高田瞽女の歴史や文化に触れる機会を提供した。

期 日：令和4年6月12日(日)

テ ー マ：映画「瞽女GOZE」のロケ地を巡る旅

参加者数：31人(市内19人、市外12人)

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化振興企画費		

○目標達成状況

- ・上越まるごと文化祭としてリーフレットを作成し、市内各地で開催される市民の文化・芸術活動を紹介するとともに、「プレミアムパフォーマンス」を開催し、市民の文化・芸術活動の裾野を広げることができた。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、市民団体が主催する「久比岐能」の公演が中止となり、同公演と連携して開催している「能・狂言鑑賞教室」を実施できなかったことから、市内の中学生等に日本の伝統文化に触れる機会を提供することができなかった。
- ・高田瞽女の顕彰活動に取り組む市民団体と連携し、地域固有の瞽女の歴史や文化を市民等に広く発信することができた。

【事業の成果】

- ・上越まるごと文化祭のリーフレットに掲載した市内各地の様々な催しに市民から足を運んでもらい、活動の様子を体感してもらうことにより、地域が持つ奥深い魅力を改めて認識してもらうことができた。また、高い技術力や表現力を持つ上質なパフォーマンスを披露・鑑賞できるプレミアムパフォーマンスを開催したことにより、市民に感動や勇気を届けるとともに、出演団体が地域やジャンルの枠を超えて交流を図ることができた。
- ・市民団体と連携して高田瞽女ゆかりの地を巡るバスツアーを開催したことで、地域固有の文化であった高田瞽女の歴史や文化を効果的に発信することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民の文化・芸術活動への関心を高め、自主的な活動につなげるため、引き続き、市民が文化芸術に触れる機会を提供するとともに、市内各地の文化芸術活動に関する情報の把握と発信に取り組む。

【執行残額について】

事業未実施：「能・狂言鑑賞教室」の自動車借上料 37
 入札差金：印刷製本費、備品修繕料 54
 その他：使用実績が当初見込みを下回ったことによる燃料費、私有車借上料等の執行残 63

(単位：千円)

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
25,489	21,576				687 (使用料、謝収)	20,889
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	3,913			57	3,856	

【目的】

- 旧師団長官舎の管理運営：市文化財である明治期の洋風建築を適切に維持管理するとともに、施設の活用を通じて、地域の賑わいの創出及び文化の振興を図る。
- 高田まちかど交流館の管理運営：市文化財である昭和初期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、施設の利用促進を通じて、地域の賑わい創出を図る。
- ライオン像のある館の管理運営：市文化財である明治期の銀行建築を適切に維持管理するとともに、施設の利用促進を通じて、地域の賑わい創出を図る。
- 旧今井染物屋等の管理運営：市文化財である江戸時代末期の町家建築を適切に維持管理するとともに、地域文化の継承と発信の拠点施設として活用する。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

旧師団長官舎の管理運営 3,305

○令和4年度目標

入館者数 15,900人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 文化財の維持管理と地域文化の振興

市文化財である建物を保存するため、定期的に施設の状態を確認するとともに、建物公開を通じて地域文化を発信した。

(2) 民間事業者によるレストランとしての活用

建物公開に加え、令和3年度から民間事業者によるレストランとしての活用を継続し、施設の魅力向上を図るとともに、管理費の削減に寄与した。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計画	実績
入館者数	613人	12,340人	15,900人	10,790人

※令和2年度は、改修工事のため6月から休館

※令和3年度から、レストラン事業者が施設を活用

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	74,190	17	16	14
	合計	74,190	17	16	14
②支出	施設維持管理費	1,179	2,597	4,174	3,305
	うち委託料	908	1,990	3,246	2,468
	その他	81,317	-	-	-
	合計	82,496	2,597	4,174	3,305
③公費投入額(②-①)		8,306	2,580	4,158	3,291
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		13,550	209	262	305

○目標達成状況

年間入館者数は10,790人となり、目標を達成することはできなかった。

高田まちかど交流館の管理運営 7,493

○令和4年度目標

入館者数 15,200人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

街歩きを行う市民や観光客の見学と休憩に利用されたほか、当館及び商店街で開催される催しや観光に関するパンフレットなどを設置し、街なか回遊のための情報提供を行った。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

施設管理受託業者である有限会社高田酒類会館や本町商店街が行うイベントの会場として活用されたほか、合唱の練習や各種コンサート、ワークショップなどの文化活動の場として活用された。

(3) 「高田まちかどフェスティバル」の開催

太鼓や合唱、ダンスなど、市内を中心に活動する個人や団体が出演する「高田まちかどフェスティバル」を開催し、市民が気軽に音楽に触れる場を提供するとともに、街なかの賑わい創出に取り組んだ。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				計画	実績
入館者数		10,940人	14,838人	15,200人	22,574人
うち 貸室利用	利用件数	99件	114件	/	201件
	利用人数	2,150人	2,541人		6,262人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	181	269	223	497
	その他	-	-	-	176
	合計	181	269	223	673
②支出	施設維持管理費	4,987	5,909	7,899	7,493
	うち委託料	2,393	3,579	3,758	3,436
	その他	1,507	678	-	-
	合計	6,494	6,587	7,899	7,493
③公費投入額 (②-①)		6,313	6,318	7,676	6,820
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		577	426	505	302

○目標達成状況

年間入館者数は22,574人となり、目標を達成することができた。



高田まちかどフェスティバル 2022 の様子



上越教育大学ワークショップ
(ヨリ・ミチ図工室) の様子

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

ライオン像のある館の管理運営 2,429

○令和4年度目標

入館者数 4,900人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

日本遺産北前船に関するパネル展示により、直江津の歴史と文化の発信を行ったほか、地域のまちづくり団体が主体となり、街歩きや四十物祭り、北前船と直江津をテーマにした講話会、味噌づくり体験等が催されるなど、施設の活用が図られた。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

文化団体等が行う演奏会や作品展、「なおえつうみまちアート」の展示会場の一つとして利用されるなど、施設の利用を通じて直江津の街なかの賑わい創出に取り組んだ。

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				計画	実績
入館者数		2,962人	7,502人	4,900人	5,009人
うち 貸室利用	利用件数	27件	34件	/	44件
	利用人数	350人	5,793人		3,763人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	-	-	-	-
	合計	-	-	-	-
②支出	施設維持管理費	1,824	1,998	2,468	2,429
	うち委託料	1,426	1,597	1,909	1,881
	その他	-	-	-	-
	合計	1,824	1,998	2,468	2,429
③公費投入額(②-①)		1,824	1,998	2,468	2,429
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		616	266	504	485

○目標達成状況

年間入館者数は5,009人となり、目標を達成することができた。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		



味噌づくり体験の様子



上越教育大学学生による作品展の様子

旧今井染物屋等の管理運営 8,349

○令和4年度目標

入館者数 15,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 地域文化の継承と発信及び施設の活用促進

- ・ 地元のバテンレース事業者と連携し、バテンレース制作技術の習得を目的とした講座や初心者向けの入門講座を開催し、技術の継承や発信に取り組んだ。
- ・ 藍染めや陶芸、紙・布・ガラス・金属などを使ったクラフトの職人・手仕事作家の制作実演や体験受入れなどの活動の場として、施設の活用を促進した。
- ・ 手仕事文化の継承と発信を図るため、職人展やワークショップ、バテンレースをテーマとした催しを開催した。

(2) 街なかへの誘客と回遊の促進

催しの開催によって街なかへの誘客を図るとともに、町家交流館高田小町や高田世界館、瞽女ミュージアム高田などの近隣施設の回遊を促し、地域の賑わい創出に寄与した。

○施設の管理実績 ※令和3年4月29日開館

・ 入館者数及び貸室利用状況

		令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
入館者数		11,230人	15,000人	8,918人
うち 貸室利用	利用件数	112件	/	127件
	利用人数	2,141人		780人

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和3年度	令和4年度	
			予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	-	-	-
	合計	-	-	-
②支出	施設維持管理費	7,938	6,827	5,909
	うち委託料	1,519	2,260	1,871
	その他	-	-	-
	合計	7,938	6,827	5,909
③公費投入額 (②-①)		7,938	6,827	5,909
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		707	455	663

○目標達成状況

年間入館者数は8,918人となり、目標を達成することはできなかった。



バテンレース入門講座の様子



夏休みワークショップの様子

【事業の成果】

- ・江戸時代末期から昭和初期にかけて建てられたそれぞれの歴史的建造物の特徴や歴史等を来館者に伝えるとともに、文化財としての趣をいかした誘客イベント等を開催したことにより、各施設が持つ魅力を改めて認識してもらうことができた。
- ・旧今井染物屋において、雪国高田の風土産業であるバテンレース技術の継承と発信に取り組むとともに、染物やガラス工芸、陶芸など地元を中心に活動する職人や手仕事作家による実演や制作体験のための工房として利活用を図ったことにより、地域文化の発信と継承、まちの賑わいを創出することができた。

決算書 (P150～P151)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	歴史資源施設管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・市民団体等と連携し、各施設の特徴をいかしたイベントの実施などにより、更なる誘客と街なか回遊の促進を図る。
- ・引き続き、来館者が安全・安心に利用できるよう、各施設の適切な維持管理を行うとともに、各施設や地域の歴史・文化などの情報について、市ホームページやSNS等を活用し、市内外に広く発信する。

【執行残額について】

入札差金：施設管理委託料、印刷製本費 57

その他：除雪業務委託料等の実績が当初見込みを下回ったことによる施設管理委託料の執行残 1,466
 会計年度任用職員報酬、光熱水費、営繕修繕料等が当初見込みを下回ったことによる執行残 2,390

(単位：千円)

決算書 (P150～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
48,677	46,461				4,867 (使用料助)	41,594
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,216			138	2,078	

【目的】

- 町家交流館高田小町の管理運営：郷土の歴史的建造物を活用し、市民が集い、交流する場を提供することにより、賑わいと活力のある地域社会の形成を図る。
- 坂口記念館の管理運営：坂口記念館の適切な維持管理を行うとともに、文化勲章受章者で応用微生物学の世界的権威である坂口謹一郎博士を顕彰し、教育、学術及び文化の振興を図る。
- 小川未明文学館の管理運営：小川未明に関わる資料等の公開や各種講座の開催を通じて、未明とその作品に対する市民の関心を高めるとともに、郷土が生んだ“日本児童文学の父”小川未明を市内外に発信する。
- 小川未明文学賞の開催：小川未明文学賞の作品を公募し、小川未明の文学精神である「人間愛と正義感」を継承する優秀な創作児童文学作品を送り出すことにより、子どもたちの心に夢と希望を育むほか、市内外に向けて未明及び当市の情報を発信する。
- ミュゼ雪小町の管理運営：芸術活動及び文化交流の場を提供することにより、市民による芸術文化の振興を図り、賑わいと活力ある地域社会の形成に資する。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

町家交流館高田小町の管理運営 10,481

○令和4年度目標

入館者数 26,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

- ・街歩きを行う市民や観光客の休憩に利用されたほか、周辺エリアの回遊マップや各施設のパンフレット等を設置し、観光に関する情報提供を行った。
- ・高田世界館や瞽女ミュージアム高田等の近隣施設と連携し、バスツアーなどの来訪客の受入れを行った。

(2) 集会・イベント、文化活動などの場の提供

会議や集会、習い事など、交流や文化活動、憩いの場を提供した。

(3) 高田の歴史・文化の紹介

市民団体と連携し、雁木と町家等の懐かしい高田ならではの街並みのほか、かつての大雪の様子を伝える写真などを展示し、高田の歴史や文化を市民や観光客等に紹介した。

決算書 (P150～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				計画	実績
入館者数		17,052人	20,889人	26,000人	22,306人
うち 貸室利用	利用件数	919件	1,196件		1,078件
	利用人数	7,032人	10,418人		10,319人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	828	1,127	1,521	1,110
	その他	13,833	36	22	44
	合計	14,661	1,163	1,543	1,154
②支出	施設維持管理費	11,377	9,383	11,500	10,481
	うち委託料	7,547	7,605	8,664	7,970
	その他	14,195	-	-	-
	合計	25,572	9,383	11,500	10,481
③公費投入額(②-①)		10,911	8,220	9,957	9,327
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		640	394	383	418

○目標達成状況

入館者数は22,306人となり、目標を達成することはできなかった。

坂口記念館の管理運営 7,731

○令和4年度目標

入館者数 4,500人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 坂口謹一郎博士の顕彰

- ・学習の一環として坂口記念館を見学を訪れた小学生に対して博士の功績や人となりを説明し、次代を担う子どもたちへ博士の顕彰を進めた。
- ・博士の生誕日(11月17日)を含めた3日間を入館無料デーとして、博士の業績に気軽に触れる機会を提供した。

(2) 定期的な事業の開催

- ・4月に「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」、2月から3月にかけて「ひなまつり」を開催したほか、地域の民間団体と連携し、12月に「芋煮会」を開催した。

(3) 集会、文化活動等の場の提供

- ・坂口記念館において、チェロの演奏会や竹灯籠づくり、塩麴造り体験などの集客イベントを実施したほか、市内の小学校の校外学習の場として活用されるなど、博士の偉業を学び伝える活動に寄与した。

決算書 (P150～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				計画	実績
入館者数		2,208人	3,238人	4,500人	3,544人
うち 貸室利用	楽縫庵占用利用件数	46件	81件	/	75件
	楽縫庵占用利用者数	580人	812人		793人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	461	706	1,031	716
	その他	-	57	86	32
	合計	461	763	1,117	748
②支出	施設維持管理費	7,706	7,777	7,819	7,731
	うち委託料	5,520	5,205	5,290	5,272
	その他	-	-	-	-
	合計	7,706	7,777	7,819	7,731
③公費投入額(②-①)		7,245	7,014	6,702	6,983
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		3,281	2,166	1,489	1,970

○目標達成状況

入館者数は3,544人となり、目標を達成することはできなかった。

小川未明文学館の管理運営 7,916

○令和4年度目標

入館者数 25,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 特別展の開催

名称	会期	内容	入館者数
第30回小川未明文学賞受賞記念展	4月2日(土)から 5月8日(日)まで	過去の大賞・優秀賞受賞作品の紹介 や作品の講評、贈呈式の様子を展示	1,526人
小川未明生誕140周年記念展ー弱き者のためにー	10月8日(土)から 12月25日(日)まで	最新の研究成果を交えながら未明の生涯と業績を紹介	4,345人

決算書 (P150～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

(2) 各種講座等の開催

① 文学館講座

開催日	演題	講師	入館者数
10月16日(日)	小川未明童話における<異世界>-フォークロアの要素について	^{どあいひろのり} 道合裕基氏 (龍谷大学深草図書館)	27人
10月30日(日)	生誕126年の宮沢賢治	牛崎敏哉氏 (宮沢賢治記念館学芸員)	28人
11月20日(日)	未明のプロレタリア童話・戦争童話・戦後童話	小埜裕二氏 (上越教育大学教授・小川未明文学館専門指導員)	22人

② 童話創作講座

期 日：7月24日(日)、8月27日(土)、8月28日(日)

講 師：佐々木^{かくこ}赫子氏 (児童文学作家)

受講者数：11人

③ 朗読研修会

期 日：6月25日(土)、7月9日(土)、7月16日(土)

講 師：橘由貴氏 (朗読療法士・ヴォイスアーティスト)

受講者数：27人

④ 朗読ボランティアによるおはなし会等

朗読ボランティアが文学館の入館者を対象に未明童話の朗読を毎月開催したほか、市内の小学校及び放課後児童クラブに出向き朗読やこども祭りを開催したことにより、子どもたちが未明童話の世界に触れる機会を提供した。

(3) 文学館資料の収集・調査及び活用

文学館が収集・所蔵する未明に関する作品や書籍、関連資料などを、テーマを設定し、4回に分けて展示・紹介した。

(4) 文学館専門指導員の設置

文学館の事業や運営、資料収集、展覧会の企画内容などについて、小川未明研究の第一人者である小埜裕二専門指導員(上越教育大学教授)から指導や助言を受けながら、必要な資料の収集や効果的な資料展示を行った。

(5) 市民ギャラリーの貸室

・入館者数及びギャラリー貸室利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				計 画	実 績
入館者数		14,459人	20,190人	25,000人	23,096人
うち 貸室利用	利用件数	9件	12件	/	12件
	利用人数	4,368人	6,255人		5,166人

決算書 (P150～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	64	332	400	262
	その他	22	40	195	154
	合計	86	372	595	416
②支出	施設維持管理費	3,138	3,216	3,511	3,351
	うち委託料	-	-	-	-
	その他	1,631	2,015	4,814	4,565
	合計	4,769	5,231	8,325	7,916
③公費投入額 (②-①)	4,683	4,859	7,730	7,500	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	324	241	309	325	

(6) 図録の更新

平成18年度に作成した小川未明文学館の図録を更新し、新たな視点からの小川未明の生涯や業績、及び小川未明文学館を紹介する図録『新編 小川未明の世界』を作成し、小川未明文学館で販売を開始した。

(7) 小川未明生誕140周年記念事業の実施

小川未明の顕彰活動に取り組む市民団体等と連携し、小川未明顕彰フォーラムや未明生誕140周年記念シンポジウムなどの記念事業を実施することで、市民に未明とその作品に対する理解を深める機会を提供した。



小川未明顕彰フォーラムの様子



未明生誕140周年記念シンポジウムの様子

○目標達成状況

入館者数は23,096人となり、目標を達成することはできなかった。

決算書 (P150～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

小川未明文学賞の開催 3,900

○令和4年度目標

小川未明文学賞応募数 570 編

○実施内容、これまでの経過等

第31回小川未明文学賞

小川未明文学賞委員会へ交付金を交付

<応募数> 557 編 (短編部門 301 編・長編部門 256 編) (うち市民からの応募 7 編)

<受賞作> 大賞 (1 編) 「小さな僕のメロディ」 (長編部門)

作者 有本綾氏 (大阪府)

優秀賞 (1 編) 「それでええんや」 (短編部門)

作者 藤江洋一氏 (東京都)

<贈呈式> 開催日：令和5年3月25日 (土)

会場：小川未明文学館 ギャラリー

内容：小川未明文学賞最終選考委員による講評、受賞者の挨拶



最終選考委員による講評の様子



大賞受賞者の挨拶の様子

○目標達成状況

小川未明文学賞応募数は 557 編となり、目標を達成できなかった。

ミュゼ雪小町の管理運営 16,433

○令和4年度目標

入館者数 49,000 人

○実施内容、これまでの経過等

・文化・芸術活動などの場の提供

美術館的仕様のギャラリーや創作活動、集会機能を持つ多目的室の貸室を行い、市民や市民団体等が開催する展覧会やダンスの練習、会議等の会場として利用された。

決算書 (P150～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

○施設の管理実績

・入館者数及び貸室利用状況

		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				計 画	実 績
入館者数		25,046人	38,624人	49,000人	46,486人
うち 貸室利用	利用件数	417件	510件	/	535件
	利用人数	7,672人	9,896人		13,391人

※複数日の貸室の場合は1日1件でカウント、使用場所が複数の場合は1件でカウント

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	1,794	3,025	2,167	2,500
	その他	52	57	50	50
	合計	1,846	3,082	2,217	2,550
②支出	施設維持管理費	15,527	14,191	17,112	16,433
	うち委託料	7,545	7,211	8,782	8,749
	その他	-	-	-	-
	合計	15,527	14,191	17,112	16,433
③公費投入額 (②-①)		13,681	11,109	14,895	13,883
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		546	288	304	299

○目標達成状況

入館者数は46,486人となり、目標を達成することはできなかった。

【事業の成果】

- ・坂口記念館の「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」では、酒杜り館の展示解説や発酵食品のパネル展示、発酵食品を取り入れた「つばき御膳を楽しむ会」を行い、博士の功績や「発酵のまち上越」を周知・PRすることができた。
- ・小川未明生誕140周年を記念し、未明の顕彰活動に取り組む市民団体等と連携しながらフォーラムやシンポジウムなどの記念事業を実施し、市内外に未明の業績や人となり、作品を広く紹介することができた。
- ・小川未明文学賞の贈呈式を当市で開催したことにより、未明のふるさとである上越市を市内外に発信することができた。
- ・ミュゼ雪小町のギャラリーや多目的室の貸室を通じ、市民や市民団体等の文化・芸術活動の場を提供することができた。

決算書 (P150～P153)	2款1項21目 文化振興費	所管課等	文化振興課
事業名	文化施設管理運営費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・町家交流館高田小町を拠点とする街なか回遊を促進するため、引き続き、高田世界館や瞽女ミュージアム高田、旧今井染物屋などの近隣施設と連携し、地域の歴史資源の魅力を発信していく。
- ・新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、坂口記念館では、これまで中止していた「新酒まつり」などの飲食を伴ったイベントを積極的に行い、入館者の増加につなげていく。
- ・小川未明の作品や業績に関して市民の認知度をさらに高めるため、引き続き、小川未明文学館で開催する特別展や各種講座の内容を充実させていく。
- ・小川未明文学賞について、市民や若年層からの応募が少ないことから、大学生や高校生に応募してもらえるよう、高校や大学等へ周知を行う。
- ・ミュゼ雪小町では、年間を通してギャラリー等で企画展が開催されるよう、過去に利用実績のある団体等に対し、施設の具体的な利用事例を示すなど、利用促進に向けた働きかけを行う。

【執行残額について】

入札差金：印刷製本費、営繕修繕料、施設管理委託料、空調設備設置工事、庁用備品購入費 138
 その他：町家交流館高田小町の夜間の利用実績が当初見込みを下回ったこと等による施設管理委託料の執行残 744
 ミュゼ雪小町が入居する、あすとぴあ高田に係る共益費負担金が見込みを下回ったことや、文化施設に係る修繕料、光熱水費等の執行残 1,334

(単位：千円)

決算書 (P276～P279)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	露店市場運営事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
9,201	8,693				3,020 (手数料、譜収入)	5,673
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	508				508	

【目的】

出店者による農産物等の提供を通じて、市民及び来訪者の交流の場としてにぎわいを創出するとともに、百年以上続く生活文化を次の世代につないでいくための取組を行う。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・朝市1回当たりの平均出店数：141店

○実施内容、これまでの経過等

(1) 朝市の開設

・常設露店

朝市の開催(一の日市、二・七の市、三・八の市、四・九の市)

・常設露店の推移

常時出店数

	合併前上越市			柿崎区	合計
	二・七の市	三・八の市	四・九の市	一の日市	
令和2年度	34店	32店	26店	9店	101店
令和3年度	34店	31店	27店	9店	101店
令和4年度	31店	26店	22店	6店	85店

臨時出店数(1回あたりの平均臨時出店者数)

	合併前上越市			柿崎区	合計
	二・七の市	三・八の市	四・九の市	一の日市	
令和2年度	12店	6店	8店	2店	28店
令和3年度	18店	9店	9店	2店	38店
令和4年度	17店	8店	8店	3店	36店

決算書 (P276～P279)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	露店市場運営事業		

- ・上越市露店市場運営委員会の開催
(委員構成…学識経験者、関係行政機関の代表、市場開設区域内の町内会長の代表、露店出店者の代表、市場開設関係団体の代表、公募に応じた市民 合計20人)
<令和4年12月16日(金)>
露店市場出店状況や朝市の入込調査結果について報告
朝市の活性化に向けた取組等について説明
朝市の管理運営及び今後の朝市の在り方についての意見交換
- ・朝市活性化検討会の開催
(委員構成…市場管理受託者、露店出店者の代表)
<令和5年2月14日(火)>
入込調査の結果等について報告
朝市活性化に向けた取組等について検討
- ・無料駐車券交付
朝市への集客と朝市利用者による迷惑駐車解消を図るため、朝市で商品を購入した駐車場利用者に対し、本町商店街駐車場(3・4・5丁目)の30分無料駐車券の配布を行った。

	高田地区の朝市		合計
	二・七の市	四・九の市	
令和2年度	55枚	339枚	394枚
令和3年度	86枚	289枚	375枚
令和4年度	123枚	250枚	373枚

- ・イベントの開催
若者やファミリー層など幅広い世代へ、朝市を知ってもらうことを目的に、パンやスイーツ、フリーマーケットなど出店品目を限定したイベントを6回開催した。

(2) 移動露店

- ・会場及び移動露店出店数

会場	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高田城址公園観桜会	全て中止	40店	40店
八坂神社春祭礼		中止	中止
上越まつり・高田本町		中止	中止
上越まつり・三八通り		中止	45店
上越まつり・八坂神社		中止	16店
謙信公祭		中止	14店
坂田池観桜会(柿崎区)		中止	中止
お引き上げ商工まつり(柿崎区)		中止	51店
納涼花火大会(柿崎区)		中止	10店
菅原神社例大祭(清里区)		中止	中止

決算書 (P276～P279)	7款1項1目 商工総務費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	露店市場運営事業		

○目標達成状況

- ・常設露店では、高齢化やコロナ禍の令和2年度以降にキッチンカーなどで新たに出店された方が、別の販路を開拓されたことなどの理由から、朝市1回当たりの平均出店数が121店となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・令和3年度から継続してパンやスイーツ等をテーマとしたイベントを開催したことにより、若者やファミリー層など幅広い世代の来場があり、市場の認知度が向上し、活性化を図ることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・出店者の高齢化や後継者不足等により年々常時出店者数が減少していることから、新たな業種の掘り起こしなど、関係団体と朝市の利用促進や出店者の確保に向けた取組について協議していく。
- ・今まで朝市に足を運んだことのない人や、朝市を認知していない人に対して、来場機会の増加を図る取組を朝市組合と協議しながら進めていく。

【執行残額について】

その他：新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止、縮小したことによる執行残 162
事業実施に伴う執行残 346

(単位：千円)

決算書 (P284～P287)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	魅力創造課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	新型コロナウイルス感染症経済対策費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
86,254 【3,447,232】	69,178	—			69,178 (繰越金)	—
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
—	17,076			—	17,076	

【目的】

国の地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者等への支援や経済対策等を行う。

令和4年度の取組

宿泊需要喚起キャンペーン事業交付金 69,178

○実施内容、これまでの経過等

宿泊施設への誘客促進と地域経済の活性化を図るため、宿泊需要喚起キャンペーンを実施し、宿泊代金に対する割引とキャンペーンの周知や参画する宿泊施設の情報発信を一体的に行った。

- ・交付対象者：公益社団法人上越観光コンベンション協会
- ・割引対象：一人一泊当たり、税込3,000円以上の宿泊プラン
- ・割引額：税込3,000円以上9,999円以下の場合 → 代金の50%割引
税込10,000円以上の場合 → 代金の5,000円割引
- ・割引対象期間：令和4年1月21日～8月31日
- ・宿泊施設への割当金：

宿泊施設の定員	割当上限額(千円)
30人未満	500
30人以上50人未満	850
50人以上	1,600

- ・割引実績：60事業者、18,517人泊、64,409
- ・その他経費（情報発信費、事務費）：4,769

※令和4年度中の執行に係るもの

【事業の成果】

宿泊需要喚起キャンペーンでは、市内60事業者が参画し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた宿泊需要の喚起や市内宿泊施設の利用促進を図ることで、市内経済の回復に寄与した。

【執行残額について】

その他：利用者が想定よりも少なかったことによる宿泊需要喚起キャンペーン事業交付金の執行残 17,076

(単位：千円)

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
91,390	84,313				4,918 (繰入)	79,395
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
—	7,077		105		6,972	

【目的】

観光情報の提供、観光資源のPR、関係団体の取組への支援などを通じ、観光の振興と多様な交流機会の創出を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観光案内運営事業 19,051

○令和4年度目標

- ・利用者数：18,000人（うち、高田駅5,000人、直江津駅7,000人、上越妙高駅6,000人）

○実施内容、これまでの経過等

(1) 観光案内所運營業務委託料（14,690）

- ・観光施設や飲食店などの問合せに対して、観光パンフレットを提供し、説明や道案内などを行った。
- ・観桜会の会期に合わせて、高田駅前観光案内所の開設時間を延長し、観光情報を提供した。
- ・上越妙高駅を利用する観光客やビジネス客に対し、当市内だけでなく、近隣自治体の観光施設や観光スポット、交通など広域的な観光情報を案内した。

観光案内所利用実績及び案内件数

	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	窓口案内人数	案内件数	窓口案内人数	案内件数	窓口案内人数	案内件数
高田駅前観光案内所	2,254人	3,361件	2,873人	4,281件	3,751人	5,159件
直江津駅前観光案内所	4,518人	8,720件	5,295人	10,857件	6,129人	14,429件
上越妙高駅観光案内所	3,220人	6,505件	3,650人	7,028件	5,159人	9,568件
合計	9,992人	18,586件	11,818人	22,166件	15,039人	29,156件

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

(2) 春日山案内職員に係る人件費等 (1,875)

- ・春日山城跡を訪れる観光客に対して、春日山に関する案内のほか、周辺施設や市内の観光案内等を行った。

※案内実施期間：4月1日から10月31日まで（午前9時から午後4時まで）

(3) 春日山駐車場誘導業務委託料 (1,606)

- ・混雑するゴールデンウィーク及びお盆期間中において、シャトルバスの運行及び周辺駐車場への誘導を行った。

(4) 上越妙高駅デジタルサイネージ広告掲載料 (880)

○目標達成状況

- ・利用者数は、旅行やビジネス利用において、コロナ禍からの完全回復に至らず、目標を達成することができなかったが、15,039人となり令和3年度より3,221人増加した。

観光物産宣伝推進事業 14,794

○令和4年度目標

- ・入込数 1,335,900人

○実施内容、これまでの経過等

- ・観光物産宣伝推進委託料

物産展名称	開催場所	開催時期	主催者	令和4年度入込数	
				目標	実績
上越市の観光と物産展	静岡市	11月26日(土)から 27日(日)まで	静岡市	77,800人	14,500人
観桜会物産展 (第97回)	高田城址公園	3月26日(土)から 4月17日(日)まで	上越市	1,210,000人 (観桜会入込数)	395,000人 (観桜会入込数)
謙信公祭物産展	上越市埋蔵文化財センター	8月20日(土)から 21日(日)まで	上越市	25,000人	2,000人
姉妹都市と上越市の観光と物産展	上越観光物産センター	10月1日(土)から 2日(日)まで	上越市	23,100人	7,971人
観桜会物産展 (第98回)	高田城址公園	令和5年3月29日(水)から 4月12日(水)まで	上越市	-	-
合 計				1,335,900人	419,471人

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

・入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入込数	17,206人	231,940人	419,471人

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、物産展の規模を縮小して開催したことから、入込数の目標を達成することができなかった。

上越観光コンベンション協会補助金 36,540

○令和4年度目標

- ・スポーツ大会や学術会議、コンクールなどのコンベンション開催件数：12件

○実施内容、これまでの経過等

- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会の体制及び活動の充実を図るため、職員人件費及び観光情報サイト「上越観光Navi」の運営、旅行会社への観光営業活動、メディアを活用した広告宣伝活動や観光ボランティアガイドの養成に係る経費の一部の助成を行った。
- ・交流人口の拡大と地域経済の活性化を促進するため、スポーツ大会や討論集会の開催費及びスポーツ合宿に係る宿泊費の一部を補助する取組について、事業費を支援した。
- ・観光振興による市内経済の活性化を図るため、旅行会社が企画する市内宿泊又は立ち寄りを伴う募集型旅行に対し、経費の一部を補助する取組について、事業費を支援した。

コンベンション開催件数、スポーツ合宿件数及び募集型旅行実施件数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
コンベンション開催件数	2件	3件	11件
スポーツ合宿件数	0件	3件	4件
募集型旅行実施件数 (バス台数)	31台	67台	113台

○目標達成状況

- ・コンベンションの開催について、コロナ禍で中止となっていた大会が再開されたことやオンラインから通常開催に戻された大会等があったものの、目標を達成することができなかった。

観光振興に係る諸経費 5,039

○実施内容、これまでの経過等

- ・会計年度任用職員報酬等 (3,782)
- ・郵便料、運搬料 (160)
- ・庁用自動車維持・運行経費 (831)
- ・その他旅費、消耗品費、土産代など (266)

各区の観光振興対策事業 8,889

安塚区 493

○令和4年度目標

- ・観光協会事業入込数：5,500人

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

○実施内容、これまでの経過等

安塚観光協会補助金 (493)

- ・安塚区内への来訪者の増加と経済効果の拡大を図るため、安塚観光協会の活動を支援した。
- ・コロナ禍により、規模を縮小した事業が一部あった一方で、新たに協会として都内の物産イベントに参加し、上越市の観光PRを行ったほか、灯の回廊を通じて山のうえ雪まつり実行委員会と協力するなど、観光来場客の確保に取り組んだ。

	令和4年度		
	実施日	目標	実績
菱ヶ岳山開き（地元町内会が神事のみ実施。登山道整備はトレイル第6セクション整備として実施）	6月5日（日）	—	—
観光客誘客事業 ・久比岐野祭クーポン付きチラシの配布 ・スキー場オープンイベント（豚汁サービス）	7月2日（土）から 15日（金）まで 12月18日（日）	— 100人	260人 300人
山のうえ真夏の雪まつり実行委員会への協力（豚汁サービスを実施）	8月27日（土）	—	1,000人
スローフードやすづか屋台村（やすづか彩とりどり秋祭りにおいて飲食提供）	10月1日（土）から 2日（日）まで	300人	300人
信越トレイルの利用促進（やすづか彩とりどり秋祭り企画としてハイキングイベントを実施）	10月2日（日）	100人	20人
東京都内物産イベントへの参加（江東区民まつりでの物販・観光PR）	10月15日（土）から 16日（日）まで	—	—
灯の回廊（雪茶屋の支援）及び山のうえ雪まつりへの協力	2月25日（土）	5,000人	5,050人
田舎体験事業（田舎体験ガイドを派遣）	—	—	611人
区内観光案内看板整備事業（虫川大杉駅掲示板等の維持管理）	通年	—	—
合計		5,500人	7,541人

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、状況に応じてイベントを開催し、集客を図ったことにより、目標を達成することができた。

牧区 286

○令和4年度目標

- ・観光施設入込数：13,350人

決算書 (P 286～P 287)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和 4 年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

○実施内容、これまでの経過等

(1) 牧ふるさと観光振興会補助金 (286)

- ・各種物産展への出店やオリジナル米袋の米販売など、牧区の観光PR活動を支援した。

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
牧湯の里深山荘	4,227 人	4,848 人	11,111 人
ふるさと村	4,884 人	7,043 人	8,022 人
牧ふれあい体験交流施設	842 人	986 人	1,408 人
合計	9,953 人	12,877 人	20,541 人

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響緩和により、各施設ともに入込数が増加したことから、目標を達成することができた。

柿崎区 3,280

○令和 4 年度目標

- ・海水浴場入込数：5,000 人
- ・観光協会事業入込数：47,730 人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 米山山頂避難小屋連絡協議会負担金 (428)

- ・避難小屋等の維持管理及び山頂の環境整備に要する費用の負担金
(米山山頂避難小屋連絡協議会：柏崎市、上越市(柿崎区)、柏崎山岳会、柿崎山岳会、柏崎観光協会、柿崎観光協会、柿崎区下牧町内会)

(2) 柿崎観光協会補助金 (2,702)

- ・柿崎区の観光振興を担う観光協会の活動を支援した。

(3) その他車両経費 (150)

- ・庁用車の燃料費、リース料、点検修繕費等

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

		令和4年度				
		実施日	目標	実績		
柿崎中央海水浴場		7月16日(土)から 8月21日(日)まで	5,000人	5,410人		
柿崎観光協会事業	坂田池観桜会	4月1日(金)から 4月17日(日)まで	1,500人	47,730人	未計測※	28,147人
	米山山開き登山	5月29日(日)	100人		82人	
	お引き上げ商工 まつり	6月20日(月)から 22日(水)まで	38,000人		21,809人	
	海開き安全祈願祭	7月4日(月)	30人		15人	
	観光地引網	7月31日(日)	100人		中止	
	柿崎区納涼花火大会	8月11日(木・祝)	8,000人		6,200人	
	城山(猿毛城跡)登山	10月31日(月)	—		41人	
合計			52,730人	33,557人		

※ライトアップ、イルミネーションのみ実施したため

・入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入込数	3,640人	7,210人	33,557人

○目標達成状況

・柿崎中央海水浴場

新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことに伴い、7月中は県内、8月に入り関東圏からの入込数が増加したことから、目標を達成することができた。

・柿崎観光協会事業

新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、3年ぶりにお引き上げ商工まつりが開催されたが、露店出店を県内業者に限り規模を縮小したことや、民謡流しを中止したことから、目標を達成することができなかった。

大潟区 2,710

○令和4年度目標

- ・鶴の浜温泉の宿泊者数：22,550人
- ・鶴の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰り客数：119,600人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 大潟観光協会補助金(2,710)

- ・大潟区の観光振興の中心的な役割を担う観光協会の活動を支援した。

決算書 (P 286～P 287)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和 4 年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

(2) 鵜の浜温泉まつり実行委員会補助金 (-)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの開催を中止した。

		令和 4 年度			
		目 標		実 績	
鵜の浜温泉の宿泊者数		22,550 人		32,154 人	
日 帰 り 客 数	鵜の浜温泉の日帰り客数	1,100 人	119,600 人	1,863 人	114,839 人
	鵜の浜海水浴場	24,800 人		35,483 人	
	鵜の浜人魚館	83,700 人		77,493 人	
	鵜の浜温泉まつり	10,000 人		中止	
合 計		142,150 人		146,993 人	

- ・入込数の推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入込数	76,264 人	118,801 人	146,993 人

○目標達成状況

- ・鵜の浜温泉の宿泊者数

新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、県の宿泊キャンペーン事業や行動制限の緩和等により、宿泊者数は令和 3 年度に比べ 10,027 人増の 32,154 人となったことから、目標を達成することができた。

- ・鵜の浜海水浴場・人魚館等を含めた日帰り客数

人魚館を含めた日帰り客数は、鵜の浜温泉まつりが中止となったことから、目標を達成することができなかったが、令和 3 年度に比べ 18,165 人増加した。

頸城区 900

○令和 4 年度目標

- ・観光協会事業入込数：3,335 人

○実施内容、これまでの経過等

頸城区観光協会補助金 (900)

- ・頸城区観光協会だよりの発行、イベント情報の発信、イベントの実施などの活動を支援した。
- ・イベント入込数の推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入込数	88 人	206 人	9,533 人

○目標達成状況

- ・当初中止を予定した「頸城の祭典」や「大池まつり」などのイベントが、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和等の理由により開催することができたことから、令和 3 年度に比べ入込数が増加し、目標を達成することができた。

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

吉川区 424

○令和4年度目標

- ・観光協会事業入込数：1,950人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 吉川観光協会補助金(424)

- ・吉川区の観光振興を推進する観光協会の活動を支援した。

(2) 東京都荒川区(友好都市)における物産販売等に係る旅費・トラック及びバス借上げ(-)

- ・東京都荒川区で開催の「第36回川の手荒川まつり」のふるさと物産展に参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

	令和4年度		
	実施日	目標	実績
尾神しだれ桜まつり	4月12日(火)から 18日(月)まで(ライトアップ) 4月17日(日)イベント開催	150人	200人
吉川テラス(出店)	7月23日(土)	200人	200人
よしかわやったれ祭り(出店)	8月6日(土)	400人	200人
よしかわ道の駅まつり「青空フェス」	8月11日(木・祝)	-	350人
吉川観光協会長杯争奪パラグライダー大会	10月1日(土)から 2日(日)まで	100人	200人
郷土料理を食する会(新そばまつり)	12月4日(日)	1,000人	300人
新酒を楽しむ会	令和5年3月4日(土)	100人	126人
合計		1,950人	1,576人

・入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入込数	2,410人	1,500人	1,576人

○目標達成状況

- ・郷土料理を食する会(新そばまつり)は開催回数を減らし規模を縮小したことから、目標を達成することができなかったが、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことにより、吉川テラスやよしかわやったれ祭り、新たなイベント「よしかわ道の駅まつり」が開催され、にぎわいは戻ってきた。

中郷区 396

○令和4年度目標

- ・観光協会事業入込数：3,000人

○実施内容、これまでの経過等

中郷観光協会補助金(396)

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

・松ヶ峰周辺の桜ライトアップ、さくらを楽しむ会、たけのこ狩り・縄文体験、わくわく体験教室及びスイッチバック活性化事業の実施を支援した。

・イベント入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入込数	1,100人	630人	1,650人

○目標達成状況

・新型コロナウイルス感染症の影響で、開催時期を感染者数が落ち着いた時期に変更するなどしたが、規模を縮小したことにより目標を達成することができなかった。

板倉区 400

○令和4年度目標

・ゑしんの里記念館入込数：7,500人

○実施内容、これまでの経過等

ゑしんの里観光公社補助金(400)

・ゑしんの里記念館機能強化事業として市民ギャラリー展示会及び記念館独自イベントの実施、信越トレイルのPR、そばの消費拡大促進事業として、登録有形文化財「いたくら亭」のPRパンフレットの作成を支援した。

・ゑしんの里記念館入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入込数	4,334人	7,280人	8,063人

○目標達成状況

・ゑしんの里記念館入込数：8,063人

板倉特産品販売、光ヶ原高原キャットツアー写真展、上越科学館と連携して実施したサイエンスショーの他に、9月の板倉特産品販売会と同時開催したフリーマーケットや令和5年1月22日から3月22日に雛人形展を実施し、目標を達成することができた。

名立区 (-)

○令和4年度目標

・観光協会事業入込数：9,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 名立観光協会補助金 (-)

・名立観光協会が解散したことに伴い、補助金の支出を取りやめた。

決算書 (P286～P287)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光振興対策事業		

(2) 名立区イベント交流事業補助金 (-)

- ・長野県東御市(友好都市)で開催の「火のアートフェスティバル」に参加を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

	令和4年度		
	実施日	目標	実績
鮮魚の青空セリ市	5月上旬	2,000人	中止
名立大鍋まつり	9月下旬	7,000人	中止
合計		9,000人	0人

・入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入込数	0人	0人	0人

○目標達成状況

- ・令和4年2月に名立観光協会が解散し、補助金の支出を取りやめたことや、長野県東御市で開催の「火のアートフェスティバル」に参加を予定していたが新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、全てのイベントが中止となったことから、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会において、市内で開催される各種コンベンションや募集型企画旅行に対して支援を行い、観光振興による市内経済の活性化に寄与することができた。
- ・各観光協会が開催するイベントや特産物の販売促進、観光PRなどに対し支援を行ったことで各地区における観光振興に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・観光案内所について、旅行ニーズの多様化や旅行形態の変化を受け、観光客にとって利用しやすく、利用者に寄り添った運営ができるよう情報の収集と分析の仕組みを検討する。
- ・コンベンション開催誘致について、宿泊事業者や交通事業者など関係者との連携を強化するとともに、当市の地理的優位性をいかした北信越エリアと、当市で実績のあるコンベンション開催団体を中心に営業活動を展開していく。
- ・各地の豊富な地域資源をいかした市内の周遊促進と、交流人口の拡大に資する各観光協会の取組を推進するため、引き続き支援を継続する必要がある。

【執行残額について】

事業未実施：新型コロナウイルス感染症の影響によりイベントを中止したことによる

執行残 105

その他：新型コロナウイルス感染症の影響により規模を縮小したことによる観光物産宣伝推進委託料の執行残

3,754

上越観光コンベンション協会補助金における旅行商品造成に伴う補助事業等の縮小による執行残

2,331

各観光協会補助金に係る事業の中止や変更による執行残

343

ポスター送付等にかかる経費が想定を下回ったことによる執行残

544

(単位：千円)

決算書 (P286～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	イベント推進費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
137,734	119,086		45,500		17,053 (財産収入)	56,533
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	18,648				18,648	

【目的】

高田城址公園観桜会など当市を代表するイベントを各実行組織と連携して開催し、市民の地域への誇りと愛着、一体感を育み、多様な交流機会の創出と市内経済の活性化につなげる。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観桜会事業 72,359

○令和4年度目標

- ・入込数：1,210,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・観桜会事業補助金(66,705)

開催日 令和4年3月26日(土)から4月17日(日)までの23日間

※当初会期：3月26日(土)から4月10日(日)までの16日間

会場 高田城址公園

事業主体 上越市、公益社団法人上越観光コンベンション協会、上越商工会議所

事業内容 ぼんぼりの点灯、高田城三重櫓及びさくらロードのライトアップ、臨時駐車場の開設、露店及び物産展の開設、航空自衛隊のブルーインパルスの展示飛行など

入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入込数	128,000人	200,000人	395,000人

○目標達成状況

- ・目標を達成することができなかったが、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、お花見シャトルバスの運行や会場内での飲食を可能としたほか、ブルーインパルスの展示飛行を実施したことなどにより、入込数は令和3年度に比べ増加した。
- ・開花が令和3年より9日遅く会期終盤となったことから、会期を延長したものの、天候に恵まれず客足が伸びなかった。

決算書 (P286～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	イベント推進費		

上越まつり事業 40,634

○令和4年度目標

	入込数
高田地区	80,000人
直江津地区	120,000人
春日地区	112,900人

○実施内容、これまでの経過等

- ・上越まつり委員会交付金(40,003)

事業主体 上越まつり委員会(公益社団法人上越観光コンベンション協会、高田祇園まつり奉賛会、直江津祇園祭協賛会、謙信公祭協賛会)

<高田、直江津地区>

開催日 令和4年7月25日(月)から7月29日(金)まで

開催内容 みこしの川下り、大花火大会、町内屋台巡行、御饞米奉納、露店の開設など

<春日地区(謙信公祭)>

開催日 令和4年8月19日(金)前夜祭、8月20日(土)、8月21日(日)本祭

事業内容 前夜祭(ちょうちん行列、花火の打上げなど)、狼煙上げ、献納米合戦、各種ステージイベント、武禊式、出陣行列、川中島合戦の再現など

- ・入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
高田地区	中止	中止	1,000人
直江津地区	中止	中止	107,000人
春日地区	765人	1,965人	30,700人

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、全ての地区において縮小開催となったため、目標を達成することができなかった。

観蓮会事業 2,356

○令和4年度目標

- ・入込数：198,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・高田城址公園観蓮会実行委員会交付金

開催日 令和4年7月16日(土)から8月21日(日)までの37日間

会場 高田城址公園、高田本町商店街ほか

事業主体 高田城址公園観蓮会実行委員会

事業内容 お休み処の設置、お水鉢の展示、ハスウォッチング、クーポン付き街歩きマップの配布など

決算書 (P 286～P 289)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は観光交流推進課)
事業名	イベント推進費		

・入込数等の推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入込数	49,000 人	57,000 人	44,000 人
開催期間	7 月 18 日 (土) から 8 月 23 日 (日) まで	7 月 17 日 (土) から 8 月 22 日 (日) まで	7 月 16 日 (土) から 8 月 21 日 (日) まで
日数	37 日間	37 日間	37 日間

○目標達成状況

- ・全国的に新型コロナウイルス感染症が再拡大し、また、県内においても「B A. 5 強化宣言」が発令されたことなどから、入込が令和 2 年度、令和 3 年度よりも減少し、目標を達成することができなかった。

レルヒ祭事業 3,737

○令和 4 年度目標

- ・入込数：26,000 人

○実施内容、これまでの経過等

- ・レルヒ祭実行委員会交付金

開催日 令和 5 年 2 月 4 日 (土)、5 日 (日)

会場 金谷山スキー場、高田本町商店街ほか

事業主体 レルヒ祭実行委員会

事業内容

(1) 金谷山会場

- ・1 日目…令和 5 年 2 月 4 日 (土)
あかりのパレードたいまつ滑走、ミュージックスターマイン

- ・2 日目…令和 5 年 2 月 5 日 (日)
オープニングセレモニー、レルヒ検定○×クイズ、一本杖スキー披露・講習会

・両日

日本スキー発祥記念館入館無料、金谷山スキー場リフト無料開放、スノーモービル体験、レルヒ屋台村・ドリンクブース開設、無料シャトルバス運行、臨時駐車場開設など

(2) 本町商店街会場

- ・雪灯籠の設置 (2 月 4 日 (土) のみ)、本町ガチ盛りまつり (2 月 4 日 (土) から 28 日 (火) まで)

・入込数の推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
入込数	1,900 人	1,482 人	4,400 人

○目標達成状況

- ・目標を達成することができなかったが、新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和され、コロナ禍前と同規模で開催となったほか、まとまった降雪や天候にも恵まれ、入込数は令和 3 年度に比べ増加した。

決算書 (P286～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	イベント推進費		

【事業の成果】

- ・令和3年度に比べ、入込数は増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小して開催したことなどから、全てのイベントで目標入込数に達することができなかった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各イベントの実行委員会や関係機関と効果的な情報発信や受入態勢の在り方等について検討を重ね、イベント内容と情報発信、データ収集の充実を図り、当市の更なる認知度向上と交流人口の拡大を促進していく。

【執行残額について】

その他：事業実施に伴う執行残 1

新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを縮小開催したことによる
執行残 18,647

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,143	4,123				376 (使用料、財産収入、 譲収入)	3,747
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	20					20

【目的】

直江津祇園祭の屋台を保管するとともに、貸館施設としての利用促進や観光情報の発信を行い、伝統文化の保存と地域の活性化を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・利用者数：3,500人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 西本町4丁目18番12号
 設置 平成6年度
 構造 鉄骨造1階建て
 施設内容 イベントホール、広場、保存・展示庫
 面積 延床1,489.26㎡
 管理 直営
 利用形態 直江津祇園祭屋台の保管、貸館施設

・施設の経緯

平成6年度 開館
 平成14年度 利用者の減少により休館
 平成17・18年度 屋台会館前広場で、伝統芸能の披露を実施
 平成19年度 有効活用方法検討のため、関係町内会連絡協議会を開催
 平成20・21年度 「越後上越 天地人博」の開催
 平成22年度 貸館とする準備のため閉館(6月末まで)
 貸館及び屋台保管施設として開館(7月から)
 平成25年度 会議室をJーホールディングス(株)へ事務所貸付
 令和元年度 会議室のJーホールディングス(株)への事務所貸付が終了
 令和3年度 屋根の改修工事实施
 事務室をスポーツ協会へ事務所貸付

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	直江津屋台会館管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
利用者数	2,836人	5,590人	3,500人	5,244人

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	150	79	285	300
	その他	56	544	128	76
	合計	206	623	413	376
②支出	施設維持管理費	2,924	47,938	4,143	4,123
	うち委託料	1,142	1,219	1,430	1,429
	うち施設整備工事	-	43,926	-	-
	その他	-	-	-	-
合計		2,924	47,938	4,143	4,123
③公費投入額 (②-①)		2,718	47,315	3,730	3,747
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		958	8,464	1,066	715

○目標達成状況

- ・うみまちアートで2,929人の利用のほか、防災イベントや子育てイベント等での利用があったことから、利用者数は目標に対して1,744人多い5,244人であり、目標を大きく上回った。

【事業の成果】

- ・うみまちアートのほか、防災イベントや子育てイベントの主会場としての利用があり、地域の活性化に一定の成果があった。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・令和5年度から上越観光コンベンション協会の事務所が移転し、貸館利用がない日でも開館している状況となったため、ロビーに休憩スペースを設けるとともに、直江津の街なかへの回遊を促せるようなイベントの開催を促進する。
- ・上記の取組とあわせて、今後の施設の活用方策について検討を進める。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 20

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	金谷山公園管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
88,786	87,125				4,202 (使用料、財産収入、 譲収入)	82,923
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,661				1,661	

【目的】

恵まれた自然環境の中で健全な余暇活動の場を提供できるよう、金谷山スキー場や上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）を含む金谷山公園を適切に管理し、誘客促進を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・ボブスレー利用者数 : 9,600人
- ・スキーリフト利用者数 : 3,100人
- ・BMX場コース利用者数 : 1,600人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

金谷山スキー場

所在地 大字大貫 595 番地 2

設置 昭和 56 年度

施設内容 コース : 3 本、最長滑走距離 640m、そり遊びエリア

リフト : シングル 1 基

管理棟 : 鉄筋コンクリート造 2 階建て 58.00 m²監視所 : 木造 1 階建て 6.55 m²、木造 1 階建て 3.27 m²公衆トイレ : 鉄筋コンクリート造 1 階建て 21.38 m²、木造 1 階建て 28.23 m²

営業期間 令和 5 年 2 月 1 日 (水) から 2 月 28 日 (火) まで

管理 直営 (業務委託)

利用形態 スポーツ・レクリエーション施設

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	金谷山公園管理運営費		

金谷山スーパーボブスレー

所在地	大字大貫 595 番地 2
設置	昭和 56 年度
施設内容	コース：1 本、延長 450m
営業期間	4 月 23 日（土）から 10 月 30 日（日）までの土曜・日曜・祝日、夏休み期間
管理	直営（業務委託）
利用形態	スポーツ・レクリエーション施設

上越市バイシクルモトクロス場（BMX場）

所在地	大字大貫 698 番地 1
設置	平成 10 年度
施設内容	コース：延長約 350m 休憩施設：鉄筋コンクリート造 2 階建て 26.39 m ² 公衆トイレ：木造 1 階建て 34.78 m ²
営業期間	4 月 29 日（金）から 9 月 30 日（金）までの土曜・日曜・祝日、お盆期間
管理	直営（業務委託）
利用形態	スポーツ・レクリエーション施設

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
			目標	実績
ボブスレー利用者	5,984 人	9,140 人	9,600 人	10,615 人
スキーリフト利用者	3,085 人	4,202 人	3,100 人	1,984 人
BMXコース利用者	452 人	1,506 人	1,600 人	2,966 人
合計	9,521 人	14,848 人	14,300 人	15,565 人

・施設管理における市の収支状況

区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度		
			予 算	実 績	
①収入	使用料収入	1,867	2,585	2,933	2,981
	その他	115	83	1,006	1,221
	合計	1,982	2,668	3,939	4,202
②支出	施設維持管理費	37,470	49,410	88,786	87,125
	うち委託料	23,161	28,845	30,029	29,202
	その他	-	-	-	-
	合計	37,470	49,410	88,786	87,125
③公費投入額（②－①）	35,488	46,742	84,847	82,923	
④利用者 1 人当たりの公費投入額（単位：円）	3,727	3,148	5,933	5,328	

※令和元年度に索道特別会計から一般会計へ移行

決算書 (P288～P289)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	金谷山公園管理運営費		

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、遠出自粛等による市民利用や屋外レジャーの需要が増え、ボブスレーの利用者数は、目標に対して1,015人多い10,615人となり、目標を上回った。スキーリフトの利用者は、少雪の影響で例年より営業日が少なかったことから、目標に対して1,116人少ない1,984人であり、目標を下回った。
- ・また、BMX場については、上越市BMX協会主催の定期戦等が開催され、コースバンク舗装修繕のため、例年より1月早く営業終了となったにも関わらず、利用者数は目標を1,366人上回る2,966人であり、目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・雑木の伐採や草刈りなど施設の適切な管理を行い、良好な景観を維持し、安全で気軽に楽しめる市民の憩いの場を提供した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域の方々と金谷山公園の今後の在り方について検討を進め、その結果を踏まえ、老朽化が進む施設の修繕を計画的に進める必要がある。
- ・新潟県BMX協会と連携し、初心者向けの講習会等の実施による競技人口の拡大及び全日本自転車競技選手権などの大会誘致による交流人口の拡大を図る。
- ・スノーシーズンには、ファミリー層を中心に、より一層雪を楽しみ、親しめる環境の整備に努める。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 1,661

(単位：千円)

決算書 (P288～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
101,430	99,619			7,100	1,058 (財産収入、諸収入)	91,461
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,811			1,758	53	

【目的】

スキーを始め年間を通じて野外スポーツ等を楽しめる観光拠点として、安全安心の利用を確保するための適切な施設の維持・整備を行う。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・雪だるま高原施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。
- ・今後の施設の在り方を将来計画として策定する。

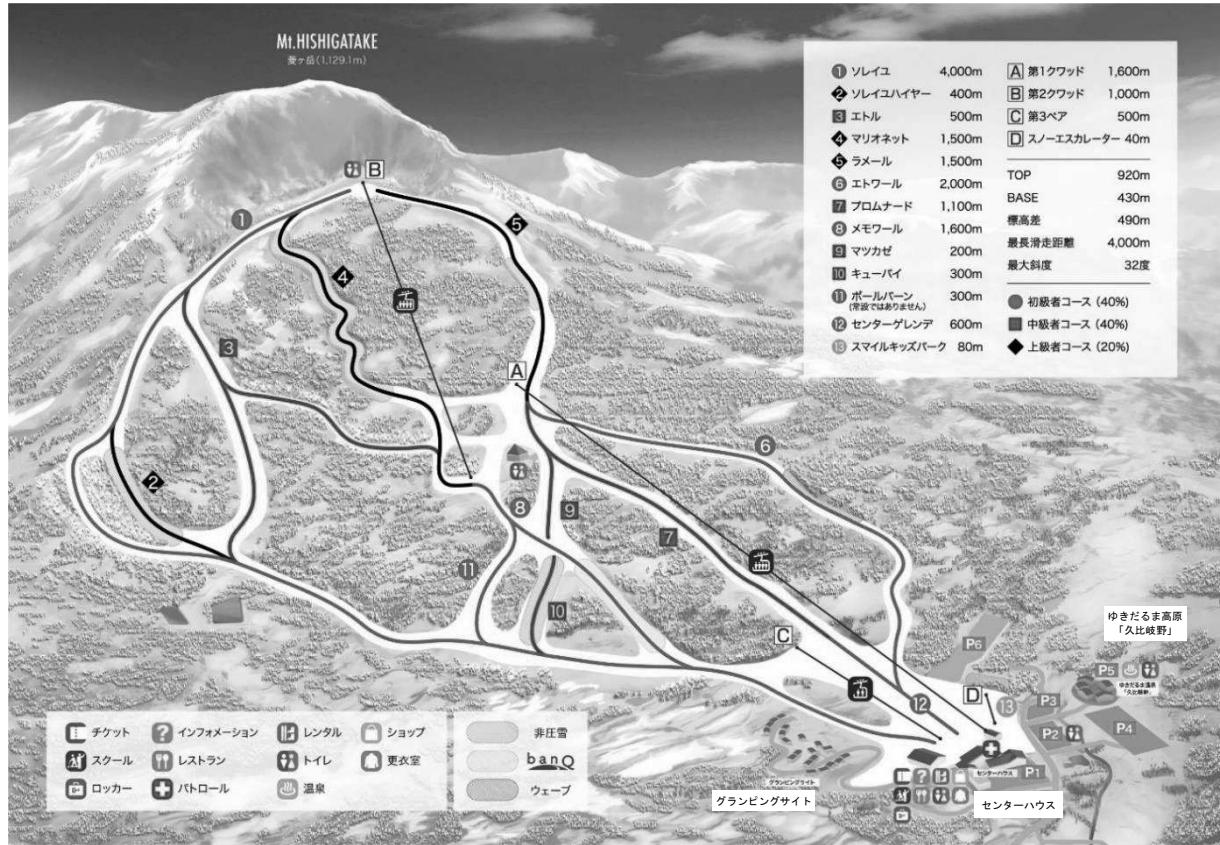
○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	安塚区須川地内
設置	平成2年度
施設内容	スキー場 ゲレンデ面積 48ha
	索道施設 ゴンドラ 1基 ※令和2年度から休止
	リフト 4基 ※平成28年度から第4ペアリフト休止
	宿泊施設 コテージ：20棟 (管理棟含む) 50室
	久比岐野：和室7室、洋室8室 ※令和2年度から休止
	体験施設 ふれあい昆虫館 ※令和2年度から休止
	棚田動植物公園：面積 2ha
	温浴施設 久比岐野新館 (日帰り温浴)
管理	指定管理
利用形態	日帰り及び宿泊施設

決算書 (P 288～P 291)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

【スキー場コース図】



・令和 4 年度の実施状況

項目	金額	内容
消耗品費	9,892	クワッドリフト握索機部品 (3,960)、クワッドリフト押送装置部品 (1,925)、クワッドリフト索輪部品 (1,595)、第 3 ペアリフト搬器部品 (1,232)、第 3 ペアリフト索輪部品 (517)、消火器 (218)、第 1 クワッドリフト山頂押送駆動チェーン (212) 等
修繕料	56,071	圧雪車基本整備 (7,367)、圧雪車修繕 (3,544)、乗用草刈機基本整備・修繕 (1,279)、スノーモービル基本整備・修繕 (1,168)、ビレッジ外通路羽目板修繕 (7,150)、センターハウスリモートユニット更新修繕 (7,150)、センターハウス吸収冷温水機冷温水系伝熱管取替修繕 (6,906)、雪だるま高原施設屋根等風雪被害修繕 (5,687)、雪だるま高原施設落雷被害修繕 (4,357)、ビレッジ・センターハウス駐車場不陸整正等修繕 (2,699)、高圧引込 PAS 更新修繕 (1,298)、センターハウス建設設備・防火設備修繕 (1,265)、ビレッジエアコン更新修繕 (850)、雪だるま高原施設消防設備修繕 (705)、ビレッジ床・壁・トイレ等修繕 (656)、ビレッジ給湯設備修繕 (527)、源泉ポンプ制御盤修繕 (495)、センターハウス自動ドア修繕 (385) 等

決算書 (P288～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	雪国文化村リゾート推進事業		

項目	金額	内 容
通信運搬費	430	Wi-Fi回線使用料
手数料	39	作業用軽トラック購入手続代行費用・リサイクル関連費用
保険料	20	作業用軽トラック購入に伴う自賠責保険料
使用料及び 賃借料	2,329	除雪重機賃借料(1,369)、AED賃借料(179) 国有林野土地借上料(781)
工事請負費	25,586	第1クワッドリフト緊張滑車・誘導滑車整備工事(15,268)、 ゆきだるま温泉源泉ポンプ交換工事(7,920)、第1クワッド リフト原動機(主モーター)整備工事(2,398)
備品購入費	5,245	乗用草刈機(4,070)、作業用軽トラック(979)、デジタル簡易 業務用無線機子機(196)
公課費	7	作業用軽トラック購入に伴う自動車重量税・自動車税
合計	99,619	

○目標達成状況

- ・集中降雪や突風等の自然災害を始め、経年劣化による施設・設備等の損傷、故障を適切に修繕し、利用客の安全を確保することで、重大事故の発生をゼロにすることができた。
- ・今後の施設の在り方を「安塚雪だるま高原施設整備活用基本計画」として策定した。

【事業の成果】

- ・施設や装置機器の定期的な点検と計画的な修繕を実施し、維持管理を適切に行ったことにより施設全体を安全に運営できた。
- ・基本計画を策定したことで、今後の方針を明確にすることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・「安塚雪だるま高原施設整備活用基本計画」に基づき、事故防止及び長寿命化のための必要な修繕を適時適切に実施する。
- ・新第2リフト建設事業を着実に推進する。

【執行残額について】

入札差金：消耗品費 1,119、工事請負費 340、備品購入費 299
 その他：事業実施に伴う執行残 53

(単位：千円)

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,652	1,844				9 (諸収入)	1,835
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	808		754		54	

【目的】

休止施設を適切に維持管理するとともに、霧ヶ岳登山者等の屋外トイレ、駐車場として有効利用する。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 浦川原区小谷島 1217 番地 1
 設置 本館：平成4年度
 新館：平成5年度
 構造 本館：木造一部鉄筋コンクリート造地上1階地下1階建て
 新館：木造2階建て
 施設内容 本館・新館 ※平成29年度から休止
 その他附属施設：遊歩道、トイレ棟
 面積 延床 1,612.5 m² (本館 1,260.0 m²、新館 352.5 m²)
 管理 直営
 開設期間 遊歩道及びトイレ棟：4月下旬から11月中旬まで
 利用形態 公園施設

決算書 (P 290～P 291)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	浦川原霧ヶ岳温泉ゆあみ管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	27	8	-	9
	合計	27	8	-	9
②支出	施設維持管理費	3,202	1,740	2,379	1,844
	うち委託料	1,150	997	1,696	942
	その他	-	-	-	-
	合計	3,202	1,740	2,379	1,844
③公費投入額 (②-①)		3,175	1,732	2,379	1,835
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・公の施設の適正配置計画に基づき、令和 4 年度末をもって施設を廃止した。
- ・今後の財産処分方針を検討していく。

【執行残額について】

事業未実施：除雪作業委託の未実施に伴う執行残 754
 そ の 他：事業実施に伴う執行残 54

(単位：千円)

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
23,590	21,297			3,800	7,496 (使用料、財産収入、 譲収入)	10,001
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,293				2,293	

【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、地域経済の活性化を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・利用者数：3,100人（うち宿泊1,000人、日帰り2,100人）

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大島区田麦 1096 番地 2
設置	宿泊棟：平成3年度 体験棟：平成5年度
構造	宿泊棟：鉄筋コンクリート造2階建て 体験棟：木造一部2階建て
施設内容	宿泊棟：客室7室、食堂、浴室2室 体験棟：広間、調理体験室、座敷、奥座敷
面積	延床 967.07 m ² （宿泊棟 711.56 m ² 、体験棟 255.51 m ² ）
管理	直営（業務委託）
利用形態	日帰り及び宿泊施設

決算書 (P 290～P 291)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
			目標	実績
利用者数	1,011 人	819 人	3,100 人	1,939 人
うち宿泊	194 人	86 人	1,000 人	629 人
うち日帰り	817 人	733 人	2,100 人	1,310 人

・施設管理における市の収支状況

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度		
			予 算	実 績	
①収入	使用料収入	677	416	3,060	2,148
	その他	1,727	2,082	10,321	5,348
	合計	2,404	2,498	13,381	7,496
②支出	施設維持管理費	16,386	18,579	23,590	21,297
	うち委託料	9,522	9,324	11,594	11,167
	その他	-	-	-	-
	合計	16,386	18,579	23,590	21,297
③公費投入額 (②-①)		13,982	16,081	10,209	13,801
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)		13,830	19,635	3,293	7,118

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響が残り、主な利用者である田舎体験や合宿での県外利用団体の一部キャンセルが発生したことなどから、宿泊・日帰りともに目標を達成できなかったが、季節のイベントを実施するなど、利用者数の増加に向けた取組が一定の効果を上げた。

【事業の成果】

- ・県外からの利用者が増加傾向にあり、利用者数については回復基調にある。
- ・宿泊を伴う教育旅行についても令和 3 年度より増加したほか、季節のイベントの実施を通じて、利用者との交流及びリピーターの増加につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・首都圏の学校等との交流再開を働きかけるとともに、季節の独自イベントを開催することで新たな利用者を獲得し、庄屋の家ファンの拡大を図る。
- ・施設・設備は建設から 30 年が経過し老朽化が進んでいることから、利用者の安全や利便性に配慮しながら計画的な修繕を行い、適切な維持管理に努める。

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

【執行残額について】

その他：利用者数が目標に達しなかったことによる賄材料費、光熱水費及び施設管理委託料等の執行残 2,293

(単位：千円)

決算書 (P290～P291)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,971	2,901			1,300	503 (繰入)	1,098
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	70				70	

【目的】

豊かな自然と田舎の生活文化に触れる憩いの場を提供することにより、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・利用者数：6,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 牧区池舟2番地
 設置 昭和53年度
 構造 ふるさとの家：木造2階建て
 ふるさとアピール館：木造2階建て（鉄筋コンクリート造地下1階）
 施設内容 ふるさとの家 厨房、食堂、客間
 ふるさとアピール館 ※平成27年度から休止
 面積 延床631.81㎡（ふるさとの家214.5㎡、ふるさとアピール館417.31㎡）
 管理 直営（業務委託）
 利用形態 体験研修施設

※平成27年度から「ふるさとアピール館」を休止しているが、地元団体から、イベントや地域の交流事業などでの施設使用希望があり、平成30年度から施設の使用を許可している。

※平成15年度から「ふるさとの家」で地域団体の友牧会が施設使用許可を受け、蕎麦屋「木草庵」の営業を開始。当初7月～9月は「ふるさとアピール館」で、その他の期間は「ふるさとの家」で営業。平成26年度からは「ふるさとの家」のみで通年営業を行っている。

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標	実績
利用者数	4,884人	7,043人	6,000人	8,022人

決算書 (P 290～P 291)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	牧ふるさと村自然と憩の森管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	362	432	432	503
	合計	362	432	432	503
②支出	施設維持管理費	2,218	2,919	2,971	2,901
	うち委託料	1,515	1,836	1,793	1,793
	その他	-	-	-	-
	合計	2,218	2,919	2,971	2,901
③公費投入額 (②-①)		1,856	2,487	2,539	2,398
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		380	353	423	299

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の行動制限が緩和されたことなどにより、利用者数は目標に対して 2,022 人多い 8,022 人となり、目標を達成した。

【事業の成果】

- ・「ふるさとアピール館」及び茅葺屋根の古民家である「ふるさとの家」では、市の使用許可のもと地元団体により地域活性化に資する活動を行っている。特に蕎麦店として活用されている「ふるさとの家」は、令和 2 年度末の利用客の SNS 投稿により急激に利用客数が増加しており、コロナ禍の落ち着きも相まって令和 4 年度も利用者数は増加し、コロナ禍前の令和元年度よりも多くの方が利用している。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・当該施設は地元団体により運用されているが、地域の高齢化や人口減少により、今後の運営や利用促進が難しくなることが見込まれるため、地元団体や関係機関と施設の在り方について検討が必要である。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 70

(単位：千円)

決算書 (P290～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,030	2,709			1,200	59 (使用料、諸収入)	1,450
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	321			101	220	

【目的】

地域の特性及び資源を活用した体験型観光施設として、都市部の住民との交流促進を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・利用者数：1,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	牧区原 991 番地
設置	平成 11 年度
構造	木造 2 階建て
施設内容	研修室 1 室、ミーティングルーム 1 室、体験調理室・実習室 1 室、ホール 1 室、ふれあい広場
面積	延床 568.34 m ²
管理	直営 (業務委託)
利用形態	研修集会施設

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計画	実績
利用者数	842人	986人	1,000人	1,408人

決算書 (P 290～P 293)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	牧ふれあい体験交流施設管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	10	-	5
	その他	44	51	82	54
	合計	44	61	82	59
②支出	施設維持管理費	2,694	2,586	3,030	2,709
	うち委託料	1,681	1,562	1,576	1,453
	その他	-	-	-	-
	合計	2,694	2,586	3,030	2,709
③公費投入額 (②-①)		2,650	2,525	2,948	2,650
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位: 円)		3,147	2,561	2,948	1,882

○目標達成状況

- ・利用者数は目標に対して 408 人多い 1,408 人となり、目標を達成した。

【事業の成果】

- ・地元 N P O 法人に施設管理を委託することで、適切な施設運用を図るとともに、当該 N P O 法人により、団子作り体験やブルーベリー摘み体験、みそ作り体験などのイベントが実施され、施設の活用が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・コロナ禍の落ち着きにより利用者数は回復傾向にあるが、人口減少や高齢化により、今後の施設運営や利用促進が難しくなることが見込まれるため、地元団体や関係機関と施設の在り方について検討を行う必要がある。

【執行残額について】

入札差金：委託料 101
そ の 他：事業実施に伴う執行残 220

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
12,732	12,489				1,993 (使用料、財産収入、 譲収入)	10,496
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	243				243	

【目的】

道の駅として施設を訪れる観光客等の「休憩場所の確保」と「利用しやすい環境整備」を行うとともに、地域の特産品や観光情報を発信することにより、交流人口の増加と地域の活性化を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・利用者数：80,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区杜氏の郷1番地
設置	平成15年度
施設内容	情報発信施設：木造1階建て 218.14㎡ 公衆トイレ：木造1階建て 69.71㎡ 駐車場 265台
面積	延床 287.85㎡
管理	直営(業務委託)
利用形態	休憩施設等

○施設の管理実績

・利用者数

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計画	実績
利用者数	72,040人	77,875人	80,000人	77,516人

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	道の駅よしかわ杜氏の郷管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	10	2
	その他	264	245	313	1,991
	合計	264	245	323	1,993
②支出	施設維持管理費	6,959	10,815	12,732	12,489
	うち委託料	3,734	4,004	4,765	4,764
	その他	-	-	-	-
	合計	6,959	10,815	12,732	12,489
③公費投入額 (②-①)		6,695	10,570	12,409	10,496
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		93	136	155	135

○目標達成状況

- ・利用者数は、目標に対して2,484人少ない77,516人となり、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・農産物直売所では地域の農産物や特産品を中心に販売し、道の駅の集客に成果を上げている。
- ・広場や駐車場を利用した地域イベントが行われるなどの交流人口の拡大に寄与した。
- ・地域の観光ポスター・パンフレット等を配置し、観光客への情報提供を図った。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地域と連携したイベントの実施や道の駅の関係団体共同での取組を促すことにより、道の駅全体としての魅力向上を図っていく。
- ・令和4年度に開設した「道の駅よしかわ杜氏の郷」のホームページ等を活用し、積極的な情報発信、PRに努める。
- ・地域、関係団体等で構成する「道の駅よしかわ杜氏の郷活性化検討会」において、当該施設の活性化に資する取組や活動計画を検討する。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 243

(単位：千円)

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
4,288	4,083				1,497 (繰入)	2,586
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	205			88	117	

【目的】

坊ヶ池湖畔公園を適切に維持管理するとともに、地元団体が、休止施設を交流事業などで安全に使用できる状態を確保する。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	清里区青柳 3438 番地		
設置	山荘京ヶ岳 本館	平成 2 年度	
	山荘京ヶ岳 新館	平成 6 年度	
	フォークハウス湖畔	平成元年度	
施設内容	山荘京ヶ岳 本館	木造 2 階建て	
	山荘京ヶ岳 新館	木造 2 階建て (地下：鉄筋コンクリート造)	
	フォークハウス湖畔	鉄筋コンクリート造 3 階建て	
	坊ヶ池湖畔公園	炊事場・トイレ	
面積	延床 1,903.39 m ² (本館 499.44 m ² 、新館 1,036.05 m ² 、湖畔 367.9 m ²)		
管理	直営		
開設期間	坊ヶ池湖畔公園 4月13日(水)から11月30日(水)		
利用形態	公園施設		

※平成 29 年度から「山荘京ヶ岳」、「フォークハウス湖畔」を休止している。

地元団体から、イベントや地域交流など地域活性化を目的とした事業を行うため施設使用希望があり、山荘京ヶ岳新館の一部(大広間・厨房)の使用を許可している。

決算書 (P292～P293)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	坊ヶ池周辺施設管理運営費		

○施設の管理実績

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-	-
	その他	398	1,529	2,184	1,497
	合計	398	1,529	2,184	1,497
②支出	施設維持管理費	3,867	4,020	4,288	4,083
	うち委託料	1,811	1,823	1,887	1,799
	その他	-	-	-	-
	合計	3,867	4,020	4,288	4,083
③公費投入額 (②-①)		3,469	2,491	2,104	2,586
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		-	-	-	-

【事業の成果】

- ・施設内設備等の維持管理を適切に実施した上で、地元団体が市の使用許可を受け、5月から11月までの毎週土曜、日曜日に地域交流を目的にカフェ運営のほか、流しそうめんや蕎麦まつりなどのイベントを実施した。(利用者数6,618人、令和3年度比1,127人の増)

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・地元団体による施設の利活用を支援するとともに、今後の利用動向を踏まえ、施設の在り方を検討する。

【執行残額について】

入札差金：委託料 88
そ の 他：事業実施に伴う執行残 117

(単位：千円)

決算書 (P292～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
20,091	19,583		600		5,131 (使用料、財産収入、 譲収入)	13,852
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
	508				508	

【目的】

名立区の自然をいかした余暇活動や心身の健康の保持及び増進の場として、当施設を適切に維持管理し、周辺施設を含めた利用客の増加を促す。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・利用者数：14,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 名立区名立小泊798番地1
 設置 平成5年度
 施設内容 ビッグボブスレー：全長470m ローラースライダー：全長190m
 アスレチック：木製15基 芝生広場：1,200㎡
 展望台：木造 地下1階・地上2階建て 延床299.42㎡
 バーベキューハウス：木造1階建て 78.67㎡
 休憩棟：木造1階建て 57.97㎡
 管理棟：木造1階建て 132.2㎡ 等
 面積 約35ha
 営業期間 4月16日(土)から10月30日(日)までの土曜・日曜・祝日
 (夏休みは金曜、お盆も営業)
 管理 直営
 利用形態 公園施設

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計画	実績
利用者数	8,313人	13,639人	14,000人	16,121人

決算書 (P292～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	シーサイドパーク名立管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	2,281	3,746	3,809	4,616
	その他	513	161	513	1,115
	合計	2,794	3,907	4,322	5,731
②支出	施設維持管理費	9,265	12,906	20,091	19,583
	うち委託料	742	767	846	845
	その他	-	-	-	-
	合計	9,265	12,906	20,091	19,583
③公費投入額 (②-①)		6,471	8,999	15,769	13,852
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		778	660	1,126	859

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、遠出自粛等による市民利用や屋外レジャーの需要が増え、利用者数は目標に対して2,121人多い16,121人であり、目標を達成できた。

【事業の成果】

- ・予定した修繕を迅速に実施し、事故無く、安全な利用環境を提供することができた。
- ・コロナ禍において屋外レジャーの需要が増えており、コロナ禍前の令和元年度よりも多くの方が利用している。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・風害や塩害により設備の老朽化が進行しているため、引き続き適切な点検と計画的な修繕を行っていく。

【執行残額について】

そ の 他：雨天による営業中止に伴う会計年度任用職員報酬、費用弁償の執行残 425
事業実施に伴う執行残 83

(単位：千円)

決算書 (P294～P295)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,382	2,340				98 (諸収入)	2,242
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	42				42	

【目的】

光ヶ原高原センターや周辺施設を行政財産として適切に維持管理するとともに、地元団体が、これらの施設を有効活用し、光ヶ原高原、関田山脈の魅力を伝えることができる状態を確保する。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・令和4年度から光ヶ原高原観光総合施設は廃止し、グリーンパル光原荘の駐車場は、景観を楽しむ来訪者のために開放するとともに、光ヶ原高原センターは、地域主催のイベントでの利用など地域からの要望に応じ開放できるよう維持管理を行っている。
- ・キャンプ場は、(一財)ふしんの里観光公社が借り受け、光ヶ原高原ファン倶楽部が主体となり運営している。(利用者数344人、令和3年度比182人の減)

・施設管理における市の収支状況

区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予算	実績
①収入	使用料収入	642	522	218	-
	その他	115	69	-	98
	合計	757	591	218	98
②支出	施設維持管理費	9,713	9,692	2,382	2,340
	うち委託料	6,631	6,859	819	819
	その他	-	-	-	-
	合計	9,713	9,692	2,382	2,340
③公費投入額(②-①)		8,956	9,101	2,164	2,242
④利用者1人当たりの公費投入額(単位：円)		674	691	-	-

決算書 (P 294～P 295)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	光ヶ原高原観光総合施設管理運営費		

【事業の成果】

- ・地元団体がキャンプ場運営を行うことにより、地域住民の観光振興や地域おこしへの関心が高まるとともに、交流人口の拡大に貢献した。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き、地元団体と連携しながら、旧光ヶ原高原観光総合施設のより良い利活用策の検討を進める。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 42

(単位：千円)

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
101,209	52,895	479			20 (譲入)	52,396
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
39,866	8,448		55	321	8,072	

【目的】

上越市観光交流ビジョンに掲げた将来のありたい姿を、市民や事業者などと共有しながら、観光PRや旅行者の受入環境の整備など、様々な取組を一体となって進めることにより、一年を通じて楽しい交流が生まれる観光地域づくりを推進する。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

観光地域づくり実践事業 980

○令和4年度目標

当市の観光をけん引する担い手による観光コンテンツづくりやSNSを活用した情報発信を推進し、新たな取組への展開を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・様々な担い手が各々の取組に役立つ知識や技術を習得し、観光やおもてなしに資する事業を創出するため、観光地域づくり実践未来塾において、連続講座を3回、市内観光資源視察を1回実施した。
- ・「# (ハッシュタグ) 上越もよう」を周知するため、手軽に持ち帰ることができるよう名刺カードを作成(5,000枚×2種類)し、各イベントで配布した。また、投稿された写真を上越観光Navi公式Instagramで紹介するリポストを定期的に行ったほか、上越市展と市役所ロビーを会場に「# (ハッシュタグ) 上越もよう」フォトコンテストで受賞した作品の展示を行った。

○目標達成状況

- ・観光地域づくり実践未来塾を開催することにより、観光をけん引する担い手が知識や技術を習得し、参加者の中から中小企業者等イノベーション補助金等を活用し、4件の新たな事業が創出された。
- ・市民自らがSNSを活用し、当市の魅力を発信する「# (ハッシュタグ) 上越もよう」においては、令和4年度に約8,000件の投稿があった(令和4年度末現在の総投稿件数：約17,000件)。投稿された写真は、イベントPRや観光スポット紹介に活用したほか、令和4年度から広報上越に掲載し、自身が撮影した写真を多くの人に見てもらえるという満足感を得てもらうことで、投稿の機運を高めた。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

地域活性化起業人交流プログラム活用事業 5,600

○令和4年度目標

令和3年度に引き続き観光関連企業から職員の派遣を受け、地域資源をいかしたプログラム開発やプロモーションの強化、マーケティング技術の普及を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・株式会社阪急交通社から派遣を受けた職員1人が公益社団法人上越観光コンベンション協会に所属し、観光庁の「看板商品の創出事業」を活用し、新たな観光コンテンツを造成したほか、旅行事業者のノウハウをいかし、商談会等における観光営業、旅行商品の造成支援等に取り組んだ。

○目標達成状況

- ・当市の観光をけん引する観光事業者との関係構築を積極的に進めながら、補助事業を活用した観光コンテンツを造成したほか、若年層への誘客を図るため、公益社団法人上越観光コンベンション協会のInstagramに見栄えのよい写真の掲載や発信する文章の工夫など、閲覧者が興味を持ち拡散するような投稿を通じて、プロモーションの強化を図った。

観光営業事業 4,306

○令和4年度目標

旅行事業者への商品造成に向けた営業活動の実施と、コロナ禍の状況を踏まえ、近隣地域を中心に当市の歴史・文化や観光資源を積極的に発信し、年間を通じた誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会や市内観光事業者と連携し、当市への観光誘客に向けた営業活動を行った。
 - (1) 首都圏・関西圏・近隣地域（県内、長野県等）への営業活動（767）
 - ・新潟県観光協会が主催する観光商談会に市内観光事業者とともに参加した。
 - ・首都圏、関西圏、近隣地域の旅行事業者へ訪問営業した。
 - ・首都圏や県内で開催されたイベントに参加し、観光PRを実施した。
 - (2) 観光情報番組制作による情報発信（2,970）
 - ・当市を紹介する旅番組を制作し関東圏で放映のうえ、誘客促進を図った。
 - (3) 観桜会における観光PR活動（297）
 - ・JR東日本が運行する臨時列車「高田お花見号」の利用者に、観桜会場内の施設で利用可能な割引券や観光パンフレットの配布を行った。
 - ・集客プロモーションパートナー都市や近隣自治体を紹介するブースを設置し、観桜会来場者へ各市の特産品販売や観光PRを実施した。
 - (4) 上越妙高駅新幹線改札前PRスペースでの情報発信（144）
 - ・JR東日本が情報発信拠点として整備したスペースを活用し、駅利用者に当市の集客イベントの周知及び雰囲気醸成を図った。
 - (5) その他事業関係費（128）

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会や観光事業者と連携し、新潟県観光協会が主催する観光商談会への参加や旅行事業者への個別訪問において、観光素材やモデルコースの提案を行い、コロナ禍であったにも関わらず、当市に立ち寄るツアーが令和3年度比約1.5倍造成され、誘客が促進された。
- ・新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、県内外で行われた観光PRイベントなどに参加し、パンフレットの配布や甲冑体験などを通じ当市の歴史・文化を様々な地域で発信することで、誘客と市内経済の活性化に貢献した。

各種団体等との連携事業 4,673

○令和4年度目標

近隣地域を対象とした観光需要が拡大傾向にあることに加え、アフターコロナにおける観光産業の動向を見据え、県内外の関係自治体や観光事業者と連携し、より効果的な情報発信や域内周遊の促進に向けた取組を進める。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 各団体負担金 (4,646)

各協議会等に参画し、県内外の自治体や観光事業者と連携し、効果的な情報発信や広域周遊観光の促進に向けた取組を実施した。

- ・ほくほく線沿線地域振興連絡協議会 (1,212)
沿線の観光スポットや飲食店情報を掲載した「ほくほくマガジン」の発行に加え、Facebookや「ほくほくマガジンWeb」、SNS広告を活用してほくほく線関連のツアーや沿線情報を発信した。また、ほくほく線開業25周年を記念し、十日町駅と六日町駅を会場に、オリジナルグッズや長年使用した鉄道部品の販売などを行った。
- ・公益社団法人新潟県観光協会 (1,692)
「にいがた観光ナビ」を中心とした県内観光情報の発信、商談会の開催や誘客宣伝活動を行い、地域経済の持続的な発展と活力に満ちた地域社会づくりの実現に寄与した。
- ・新潟県国際観光テーマ地区推進協議会 (-)
今後のインバウンドの拡大を見据えた誘客として、特に訪日が加速する見込みとされている東南アジア圏に向けFacebookにより情報発信を行った。
- ・にいがたスキー100年委員会 (166)
コロナ禍収束後におけるスキー人口の拡大に向け、「新潟スノーファンクラブ」のホームページの運営やSNSの発信、各種イベントへの出展といった広報活動を行った。
- ・上信越ふるさと街道協議会 (10)
長野県・群馬県・新潟県にまたがる各街道沿線の関係団体が、協議会のホームページを通じて、ルートマップや各市のおすすめ散策コースを紹介するなど、誘客促進に向けた情報発信を行った。
- ・北陸新幹線停車駅都市観光推進会議 (400)
株式会社宝島社が発行するファッション雑誌「リンネル」に、女性モデルが現地を訪れ沿線都市を紹介する特集記事を掲載した。
- ・日本さくらの会 (10)
国花である「桜」の愛護、保存、普及活動等の取組を行った。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

- ・新潟県観光ファンづくり推進協議会 (765)
新たに開設した「にいがた観光ファンクラブ『Niicle』」の認知度向上や会員登録促進、協力施設の増加に向けた各種キャンペーンを実施した。会員登録者のデータ分析を行い、ニーズにあった情報発信、特典を付与することで効果的に会員登録者の周遊を促した。
- ・北アルプス日本海広域観光連携会議 (289)
エリア周遊促進としてデジタルスタンプラリーを実施したほか、鉄道見どころマップの作成、えちごトキめき鉄道におけるサイクルトレインを実施し、サイクリストの利便性向上を図った。
- ・関東観光広域連携事業推進協議会 (100)
海外向けにSNSを活用し、「観光テーマ」と新潟県を含む1都10県の「地名」に関する投稿を行い、観光認知度の向上を図ったほか、今後、拡大が予想される外国人旅行者のニーズを把握するための調査を実施し、話題量とその中心となる地名の報告をまとめた。また、定期的なセミナーの開催を通じ、インバウンド動向の理解と外国人旅行者の受入環境整備の向上を図った。
- ・新潟県スキー観光産業振興協議会 (2)
県内のスキー場情報の集約、各種メディアを活用した効率的な情報収集と効果的な情報発信を行った。

(2) 会議等出席旅費 (27)

○目標の達成状況

- ・各種団体に参画し、各々の目的やターゲットに合わせた情報を発信したほか、県内外の関係自治体や観光事業者と、コロナ禍収束後に見込まれる観光需要の拡大を踏まえた取組について検討した。

上越地域連携事業 2,000

○令和4年度目標

コロナ禍における旅行ニーズの変化を踏まえ、当地域内における魅力ある観光資源を組み合わせ、関係の深い3市による広域周遊観光に向けた事業実施及び情報発信を通じ、誘客を促進する。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 上越・妙高広域観光パンフレット「上越・妙高 jam旅」作成委託料 (1,000)
 - ・上越市及び妙高市の観光スポット等の魅力を県内外へ発信するため、広域観光パンフレット「上越・妙高 jam旅」を年2回作成した。
- (2) 「上越地域SEA TO SUMMIT」の開催 (1,000)
 - ・上越・妙高・糸魚川エリアの広域観光ブランドの確立を図るため、アウトドアブランドの株式会社モンベルによる環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」を初開催した。

○目標達成状況

- ・近隣自治体及び県と連携し、上越地域の様々な魅力を情報誌にまとめて発信し、認知度の向上に寄与した。また、「SEA TO SUMMIT」は、自治体をはじめ、観光協会や商工会などからなる実行委員会を組織して初めて開催し、当地域の広域周遊観光のイメージづくりを行うとともに、各市が持つ魅力的な観光資源を発信することができた。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

佐渡広域観光誘客事業 246

○令和4年度目標

「佐渡島(さど)の金山」の世界文化遺産登録を見据え、佐渡市及び当市内の観光関係団体等と連携し、情報発信や周遊観光の促進に向けた取組を強化する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 佐渡市・上越市観光・航路連携協議会 (170)

- ・県外からの誘客促進を図るため、信越放送主催の「大人の文化祭」(開催地：長野市)にPRブースを出展し、両市の観光プロモーションを行った。
- ・小木直江津航路を利用し、両市に立ち寄る又は宿泊を伴う旅行商品を造成した旅行会社に対し、補助金を交付した(ツアー本数3本、補助金額82千円)。
- ・地元紙に小木直江津航路の利用と佐渡旅行を促す広告を掲載した。

(2) 会議等出席旅費 (76)

○目標達成状況

- ・コロナ禍の影響を受け規模を縮小しての開催であったが、長野県内のイベントにPRブースを出展し、両市の観光パンフレットの配布や金塊つかみ体験を通じて、小木直江津航路の利用促進に向けた効果的なPRができた。

観光宣伝物作成事業 4,816

○令和4年度目標

市内の魅力ある観光資源をより効果的に発信するため、紙媒体に加え、上越観光N a v iや「けんけんず」公式SNS等のWeb媒体の特徴をいかし、より時宜を得た情報発信を行うことで誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

(1) パンフレットの作成 (4,092)

名称	内容	作成数(部)	決算額
総合パンフレット [増刷]	当市の観光情報を提供し、各地域への周遊を促す内容の総合パンフレット	30,000	3,300
春日山城跡めぐり [増刷]	春日山城跡及び周辺を紹介し、城跡の散策を促す内容のパンフレット	30,000	792

(2) 画像編集ソフトの購入 (59)

- ・観光PR時に掲出するポップなどの作成に必要な画像編集ソフトの年間使用権を購入した。

(3) JR首都圏主要駅における掲出用ポスターの作成 (530)

- ・首都圏のJR駅利用者に対し、「第98回高田城址公園観桜会」をPRするためのポスターの作成及び掲出を行った。

(4) 上田市・上越市桜まつりポスター作成 (134)

- ・両市で開催している春の桜まつりを共同で発信することにより、姉妹都市として市民交流の促進と連携強化を図った。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

○目標達成状況

上越観光Naviへ誘導する二次元コードの掲載や旬の情報を加えるなどの修正を行った上、パンフレットを増刷し、当市の魅力を発信することができた。

観光インフォメーション利用環境整備事業

○令和4年度目標

四季の見どころや体験プログラムなどについて、当市への訪問が喚起されるような魅力的な画像・映像を多く用いて紹介するとともに、YouTubeに投稿した動画などについて他のSNSにおいても活用し、効果的かつ訴求力のある情報発信を目指す。

○実施内容、これまでの経過等

- ・公益社団法人上越観光コンベンション協会と連携の上、当市の観光情報サイト「上越観光Navi」内にイベント掲載申込フォームを作成し、簡潔にイベント掲載を申込みできるようにすることでイベント情報の充実を図った。
- ・季節ごとにおすすめスポットのページを作成し、魅力的な写真を添えて紹介することでより時宜を得た情報発信を行った。
- ・これまで運用してきた、「けんけんず」公式SNSをウェブサイトと親和性を持たせるために「上越観光Navi」と名称変更し、公式Instagramでは「#(ハッシュタグ)上越もよう」をつけて投稿された上越市の魅力的な風景を紹介するほか、施設やイベント情報を広く発信した。

○目標達成状況

- ・上越観光Naviの閲覧（ページビュー）数は令和3年度比約1.7倍となり、より多くの閲覧者に当市の情報を発信することができた。
- ・公式SNSのフォロワー数もInstagramが令和3年度比約1.5倍となり、テーマを設定し、時機を逃さず情報発信を行った効果が表れた。



上越観光Navi

謙信公ゆかりの地振興事業 1,866

○令和4年度目標

- ・上越市埋蔵文化財センター内の企画展の入込数：23,000人

○実施内容、これまでの経過等

(1) 施設管理運営業務委託 (1,163)

- ・上越市埋蔵文化財センターにおいて企画展「越後上越 謙信公と春日山城展」を開催した。

会 期：令和4年4月1日（金）から令和5年3月31日（金）まで

入場者数：

令和2年度	令和3年度	令和4年度
20,298人	22,713人	26,220人

内 容：上杉謙信公の生涯を紹介するパネルやゆかりの品の展示を始め、春日山城のジオラマ、ゲームやクイズも取り入れ、楽しみながら学ぶことができる展示を実施した。

※甲冑体験コーナーは、新型コロナウイルス感染予防のため中止

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

周知方法：「上杉謙信公のふるさと・上越市」の知名度向上及び企画展への誘客促進を図るため、企画展の周知チラシを作成し、市内外に広く配布するとともに、上越IC、上越高田ICから企画展会場への誘導看板を設置し、案内を行った。

- (2) 商標登録更新業務委託 (142)
 - ・「義の塩」の商標権を更新(10年ごと)した。
- (3) ノベルティ作成業務委託 (140)
 - ・市外における観光PR時に来場者の関心を高め、かつ手軽に情報発信を行うツールとして、「けんけんず」公式Instagramへの誘導を促すオリジナルデザインのウェットティッシュを作成し、配布した。
- (4) その他事業関係費 (421)
 - ・燃料費、消耗品費、修繕料等



ウェットティッシュ

○目標達成状況

- ・企画展の入込数は、令和3年度比で3,507人の増加となり、目標を達成した。

「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業 24,209

○令和4年度目標

来訪者に対する観光PR等に加え、YouTubeや他のSNSなどを通じて幅広く当市の魅力を発信し、知名度向上と誘客促進を図る。

○実施内容、これまでの経過等

- (1) 観光客受入体制充実事業委託料 (24,091)
 - ・春日山城跡や上越市埋蔵文化財センター等において、観光案内や写真撮影などのもてなし活動を行った。
 - ・市内外での観光PRやイベント出演などに加え、SNSや動画投稿を通じて「謙信公のふるさと・上越市」及び観光情報を全国に発信した。
- (2) 事業用車両点検整備等 (118)

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、徐々に市外で行われるイベントに参加し、対面による観光案内を行ったほか、SNSやYouTubeを活用した情報発信も引き続き行い、様々な手法で当市の知名度向上と誘客を促進した。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

灯の回廊事業 3,928

○令和4年度目標

・入込数：28,000人

○実施内容、これまでの経過等

開催日 令和5年2月25日(土)

会場 安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区(岩の原葡萄園周辺)、名立区(不動地域)

主催 安塚キャンドルロード実行委員会、大島雪ほたるロード実行委員会、うらがわら雪あかりフェスタ実行委員会、牧まちづくり実行委員会、高士地区雪まつり実行委員会、不動森あげ米かい、上越市

事業内容 上越市の冬のイベントとして、安塚区、大島区、浦川原区、牧区、高士区及び名立区の雪灯りイベントを開催し、実施地区をつなぎ合わせた一体的なPRを行った。

・経費の内訳

消耗品(ろうそく、紙コップ)	(3,031)
ポスター・パンフレット作成	(346)
パンフレット市内全戸配布運搬料	(263)
バス運行業務委託料	(286)
道路使用許可申請手数料	(2)

・入込数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
入込数	7,970人	11,930人	14,380人

○目標達成状況

・入込数が目標を13,620人下回り、達成することができなかったが、コロナ禍におけるイベントの開催制限等が緩和されたことにより、令和3年度に比べて増加した。

インバウンド推進事業 251

○令和4年度目標

アフターコロナにおける外国人旅行者の誘客に向けて、コロナ禍のトレンドに沿った効果的で質の高い情報発信と、インバウンド回復時に向けた受入態勢を整備する。

○実施内容、これまでの経過等

(1) 上越市インバウンド推進事業補助金(100)

・市内の観光事業者に対し、外国人旅行者向けの多言語パンフレットの作成に要する費用を補助し、本市への誘客促進と滞在しやすい環境づくりを支援した。

(2) 展示会等出展(151)

・世界最大規模の国際観光商談会「Visit Japanトラベルマート2022」の都内会場に参加し、オンラインにより台湾やシンガポールなど15の海外旅行会社に対し、本市の観光資源を紹介するとともに、旅行商品の造成に向け、意見交換を行った。

○目標達成状況

・インバウンドの回復を見据え、観光商談会において外国人に訴求できる観光コンテンツを紹介し、本市への来訪に向けた旅行商品の造成を促したほか、事業者向けのインバウンド推進事業補助金の交付により、受入態勢を整備することができた。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

信越トレイル利用促進事業 20

○令和4年度目標

- ・信越トレイルの測定可能な箇所での利用者数:6,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・信越トレイルコースと市内観光施設への利用者増加につなげるため、上越観光N a v iによる情報発信やパンフレットを配置するなどPRを行った。
- ・利用者数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用者数	3,893人	3,529人	2,817人

○目標達成状況

- ・上越観光N a v iによる情報発信やパンフレットを配置するなどPRを行ったが、利用者数が2,817人となり、目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・観光地域づくり実践未来塾では、各担い手がコロナ禍における観光コンテンツづくりの事例等を学んだほか、参加者同士の連携による新たな事業が創出されるなど、担い手による実践を促す機会とすることができた。
- ・「# (ハッシュタグ) 上越もよう」では、作品展を通じて、市民自らが地域の魅力に改めて向き合い、その魅力を発信しようとする機運を高めるとともに、投稿者の裾野を広げることができた。また、「# (ハッシュタグ) 上越もよう」の周知や活用により、投稿件数は令和3年度に比べ約5割増加し、当市のまちなみや自然、歴史、食をはじめとする様々な魅力がSNSを通じて発信された。
- ・総務省の地域活性化起業人制度を活用し、株式会社阪急交通社から派遣された職員のノウハウをいかした営業活動を実施し、当市への立ち寄りや宿泊を伴う旅行を促進したほか、観光庁の補助金を活用し、当市の発酵文化や歴史をいかすために「食」をブランド化させて稼ぐ創出事業を行い、誘客を図った。
- ・上越地域連携事業では、情報誌の発行や環境スポーツイベント「SEA TO SUMMIT」の開催を通じ、自治体や観光協会だけでなく、関係事業者も含めた連携体制を構築することができた。
- ・佐渡広域観光誘客事業では、小木直江津航路を利用し両市に立ち寄る、又は宿泊を伴う旅行商品を造成した旅行会社に対し補助金を交付したほか、「全国旅行支援」に合わせて地元紙に広告掲載を行い、航路の利用促進とPRに努めた。
- ・各種宣伝物の作成においては、コロナ禍の状況を鑑み、必要最小限の増刷対応としたものの、掲載内容を旅行者が必要とする情報への変更や「上越観光N a v i」へ誘導するアイコン等を配置するなど工夫し、当市の魅力を発信することができた。
- ・「上越観光N a v i」内で使用している写真をフォトコンテストで応募のあった訴求力のある写真へ変更したことや、身近な情報の掲載をすることにより、閲覧数（ページビュー数）が令和3年度比で約1.7倍となり、より多くの方に観光情報を届けることができた。

決算書 (P294～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	魅力創造課・観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	観光企画費		

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・観光地域づくり実践未来塾については、講座内容の工夫により、市内の回遊性の向上や滞在時間の増加につながる観光コンテンツの創出を図るとともに、民間事業者が互いに連携を深めながら、当市の観光資源を生かしたコンテンツづくりを恒常的に実施できるよう支援していく必要がある。
- ・「#（ハッシュタグ）上越もよう」の投稿写真については、引き続き、周知を行うとともに、観光PR用の素材として積極的に活用する。
- ・地域活性化起業人が持っているノウハウを派遣先の職員に蓄積させ、今後の観光施策にいかす体制の構築や、令和4年度に開発した商品を埋没させることなく効果的に販売し、公益社団法人上越観光コンベンション協会の自主財源の確保につなげる必要がある。
- ・観光営業事業については、公益社団法人上越観光コンベンション協会と商談会への参加や旅行会社への個別営業に関し、観光を取り巻く状況変化や今後を見据え、訪問者や訪問時期などの見直しを検討する。
- ・上越地域の魅力を発信する取組に関し、県や近隣自治体と将来像を共有した上で、取組を進めることが重要であり、地域間競争に負けない観光地づくりを行うために協議を行う。
- ・各種団体に加盟し、近隣自治体や県域を越えた事業に参画しているが、加盟している意義を再確認するとともに、意見交換を通じながら効果的に情報収集することなど、よりよい活用策を検討する。
- ・北陸新幹線の敦賀までの延伸や「佐渡島の金山」の世界文化遺産登録など、交流人口の拡大が見込まれる機会を逸することなく、当市内での観光需要が高まる取組の実施と情報発信を強化していく。
- ・観光宣伝物は、デジタルパンフレット等の活用も視野に入れながら、ターゲットや配布先などの精査や、紙面構成や情報量の見直しを行い、「上越市に訪れたい」と思わせるパンフレットを発行する。
- ・「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業において、ベテランを含む役者の引退など活動の継続が危ぶまれるため、新規人材の確保に努めるとともに、より来訪時に満足度向上と来訪に結びつく活動を検討する。

【執行残について】

事業未実施：観光インフォメーション環境整備事業に係る翻訳を行う案件がなかったことによる執行残	55
入札差金：観光宣伝物等作成事業に係る委託料の入札差金	67
観光地域づくり実践事業に係る委託料等の入札差金	105
灯の回廊事業に係る印刷製本費の入札差金	149
その他：佐渡広域観光誘客事業に係る負担金等の執行残	2,314
観光営業事業に係る運搬料等の執行残	534
各種団体等との連携事業に係る負担金の執行残	558
観光宣伝物作成事業に係る消耗品の執行残	3
信越トレイル利用促進事業の消耗品の執行残	69
謙信公ゆかりの地振興事業に係る修繕料等の執行残	203
「越後上越 上杉おもてなし武将隊」事業に係る委託料等の執行残	1,729
灯の回廊事業に係る補助金等の執行残	917
インバウンド推進事業に係る補助金等の執行残	1,205
観光地域づくり実践事業における報奨金等の執行残	540

(単位：千円)

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は観光交流推進課)
事業名	越後田舎体験推進事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
2,629	2,562					2,562
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	67				67	

【目的】

当市の豊かな自然、農山漁村の地域資源とそこに生きる人々の暮らしをいかした体験型観光を推進し、交流人口の拡大と地域の活性化を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

情報発信の強化などにより営業活動の充実を図り、受入数40団体以上、3,000人以上、6,000泊以上とする。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により変化したニーズに対応するため、既存コンテンツの磨き上げや新たなコンテンツの造成など、受入態勢を整備する。

○実施内容、これまでの経過等

- ・事業主体 越後田舎体験推進協議会
- ・市内受入地域 安塚区、浦川原区、大島区、牧区、柿崎区、大潟区、吉川区、板倉区、清里区、三和区及び名立区(11区)

(1) 各種営業活動(922)

- ・首都圏及び関西圏域、近隣県等の旅行事業者への訪問や、Webを活用した営業活動を実施した。

(2) 越後田舎体験推進協議会負担金等(1,306)

- ・越後田舎体験の推進を目的に官民で組織している協議会への負担金(1,285)
負担金：上越市1,285(47%)、十日町市1,448(53%)
- ・新潟県グリーン・ツーリズム推進協議会参加費負担金(21)

(3) 越後田舎体験事業での受入れ等に係る消耗品購入ほか(334)

○目標達成状況

- ・受入状況は、コロナ禍以前に近い水準まで戻りつつあるものの、依然として日帰りや県内の受入割合が高いことから、受入数は40団体、2,813人、4,546泊となり、目標を達成することができなかった。

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は観光交流推進課)
事業名	越後田舎体験推進事業		

・越後田舎体験受入数の推移

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
団体数 (団体)	15	35	40
人数 (人)	1, 004	2, 576	2, 813
宿泊数 (泊) ※延べ宿泊数	339	1, 566	4, 546

【事業の成果】

- ・受入数は、目標を達成することができなかったが、売上げは、宿泊施設、インストラクター及び受入家庭である市民の収入となっており、地域経済に寄与した。
- ・学校や企業等でのものづくり体験や農業体験のほか、探究学習を活用した新たな体験プログラムによる受入れを行うなど、様々な体験を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・受入家庭の高齢化が進んでいることから、農家民宿の活用や民泊受入農家の維持に取り組んでいく必要がある。
- ・教育旅行のニーズ変化を踏まえた体験プログラムの造成のほか、企業研修や外国人旅行客、市内の小・中学生など、新たな顧客の獲得に取り組む必要がある。

【執行残額について】

そ の 他：事業実施に伴う執行残 67

(単位：千円)

決算書 (P296～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等整備事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
127,522	122,742		4,058		18,778 (使用料、財産収入、繰入金、譲収入)	99,906
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,780		575		4,205	

【目的】

市内観光施設を適切に維持管理することにより、当市の豊かな自然と歴史文化に触れる場を提供し、観光誘客と地域振興を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

各公園や海水浴場等の観光施設を適切に維持管理し、受入環境の向上を図るとともに、施設の瑕疵に起因する重大事故の発生をゼロとする。

○実施内容、これまでの経過等

<合併前上越市> 68,020

[維持管理施設]

春日山城跡(駐車場、公衆トイレ)、愛の風公園(公衆トイレ)、愛宕谷公園(公衆トイレ)、親鸞聖人上陸の地(駐車場)、鏡ヶ池公園、前島記念公園、芳澤記念公園(記念館)、寺町駐車場、寺町3丁目公衆トイレ、国分寺駐車場(公衆トイレ)、居多神社前駐車場(公衆トイレ)、南高田駅駐輪場、林泉寺駐車場(公衆トイレ)、浄興寺公衆トイレ、高田駅前公衆トイレ、直江津駅前公衆トイレ、西ヶ窪浜公衆トイレ、心のふるさと道、南葉山登山道、なおえつ海水浴場、たにはま海水浴場、谷浜跨線橋、上越妙高駅観光案内所及び商業施設、直江津駅前観光案内所、高田駅前観光案内所、観光案内看板、公衆無線LAN等

[維持管理経費]

報酬 206 (会計年度任用職員報酬)
 報償費 90 (公園管理報償金)
 旅費 9 (会計年度任用職員費用弁償)
 需用費 14,376 (消耗品費 823、光熱水費 7,980、修繕料 5,573)
 役務費 4,470 (Wi-Fi回線整備・使用料 2,284、し尿くみ取り手数料 2,186)
 委託料 43,249 (海水浴場事業委託料 11,549、海岸清掃・整備委託料 14,069、観光施設清掃・整備委託料 4,127、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 5,168、看板撤去委託料 3,430等)
 使用料及び賃借料 5,326 (上越妙高駅観光案内所及び商業施設用地借上料 3,367等)
 原材料費 64 (補修資材等)

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等整備事業		

負担金補助及び交付金 230 (たにはま海水浴場臨海学校受入整備事業補助金 226、
公衆無線 LAN 機器電気料負担金 4)

<安塚区> 1,928

[維持管理施設]

雪だるま高原 (信越トレイル枝線、高原内国有林野)、直峰城跡 (公衆トイレ)、観光案内看板

[維持管理経費]

需用費 30 (消耗品 3、光熱水費 27)
 役務費 4 (浄化槽検査手数料)
 委託料 373 (公園等管理委託料)
 使用料及び賃借料 684 (雪だるま高原及び観光看板用地借地料)
 工事請負費 837 (施設看板撤去及び設置工事)

<大島区> 33

[維持管理施設]

小海の池、岩栗運動広場、観光案内看板

[維持管理経費]

委託料 33 (図面作成委託料)

<牧区> 767

[維持管理施設]

弘法清水自然公園、信越トレイル (宇津俣峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 37 (消耗品費 2、光熱水費 33、修繕料 2)
 役務費 138 (水質検査手数料)
 委託料 518 (公園等管理業務委託料)
 使用料及び賃貸料 74 (弘法清水公園用地、看板用地借地料)

<柿崎区> 10,653

[維持管理施設]

柿崎中央海水浴場 (駐車場、公衆トイレ)、大出口公園 (公衆トイレ)、坂田池園地 (駐車場、
遊歩道、公衆トイレ)、米山山頂避難小屋、米山登山道、下牧休憩施設、米山寺公衆トイレ、
三ツ屋浜公衆トイレ、上下浜温泉源泉施設、直海浜海岸駐車場、観光案内看板

[維持管理経費]

報酬 86 (草刈作業報奨金等)
 需用費 2,598 (消耗品費 66、光熱水費 726、修繕料 1,806)
 役務費 623 (トイレ汲み取り手数料 497、浄化槽検査手数料ほか 126)
 委託料 7,021 (海水浴場事業委託料 4,376、観光施設清掃・整備委託料等 2,645)
 使用料及び賃借料 298 (観光施設用地借地料)
 原材料費 27 (諸資材費)

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等整備事業		

<大潟区> 5,602

[維持管理施設]

鵜の浜海水浴場 (鵜の浜海岸、公衆トイレ)、キャンプ場トイレ、人魚伝説公園、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 219 (光熱水費)
 役務費 91 (トイレ汲み取り手数料等)
 委託料 4,881 (海水浴場事業委託 4,326、漂着ごみ回収運搬処理業務委託料等 555)
 使用料及び賃借料 411 (看板用地借地料 326、下水道使用料 85)

<頸城区> 9,274

[維持管理施設]

大池いこいの森 (ビジターセンター、キャンプ場、遊歩道、駐車場、公衆トイレ)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 1,308 (消耗品費 24、光熱水費 634、修繕料 650)
 役務費 653 (トイレ汲み取り手数料等)
 委託料 2,155 (公園等管理委託料 2,075、公衆トイレ浄化槽維持管理委託料 80)
 使用料及び賃借料 671 (大池いこいの森施設用地等借地料 551、集落排水使用料 120)
 原材料費 20 (看板資材等)
 負担金補助及び交付金 4,380 (大池いこいの森施設運営補助金)
 補償、補填及び賠償金 87 (大池いこいの森等踏荒補償料)

<吉川区> 3,741

[維持管理施設]

長峰池公園 (駐車場、公衆トイレ、遊歩道)、尾神岳遊歩道・展望台、パラグライダー用地、パノラマハウス、尾神岳公衆トイレ、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 1,828 (消耗品費 2、光熱水費 146、修繕料 1,680)
 役務費 67 (浄化槽検査手数料 26、トイレ汲み取り手数料 34、収入印紙代 7)
 委託料 1,545 (公園等管理委託料 1,258、浄化槽及び清掃維持管理委託料 287)
 使用料及び賃借料 241 (観光施設等用地借地料)
 原材料費 60 (補修資材等)

<中郷区> 18,934

[維持管理施設]

泉縄文公園 (駐車場、公衆トイレ)、松ヶ峯温泉源泉施設、松ヶ峯公衆トイレ、観光案内看板等

[維持管理経費]

報酬 585 (公衆トイレ及び温泉施設、泉縄文公園会計年度任用職員報酬)
 需用費 3,185 (消耗品費 26、光熱水費 1,666、修繕料 1,493)
 役務費 85 (浄化槽検査手数料 9、源泉監視カメラ通信料 76)

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等整備事業		

委託料 3,484 (公園等管理業務委託料 2,925、松ヶ峯温泉源泉ガスセパレーター清掃業務委託料 265、道路脇支障木伐採等業務委託料 165、公衆トイレ浄化槽及び清掃維持管理委託料 129)
 使用料及び賃借料 155 (観光案内看板用地借地料 143、下水道使用料 12)
 工事請負費 11,440 (施設整備工事費)

<板倉区> 1,903

[維持管理施設]

箕冠城址公園、山寺薬師公衆トイレ、聖の窟、玄藤寺湖畔公園、信越トレイル接続道(光ヶ原、筒方峠、久々野峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 239 (消耗品費 5、燃料費 73、光熱水費 90、修繕料 71)
 役務費 9 (手数料)
 委託料 1,508 (施設管理委託料 145、公観光施設清掃・整備委託料 517、公園等管理委託料 581、公衆便所浄化槽及び清掃維持管理委託料 265)
 使用料及び賃借料 147 (観光看板敷地賃借料)

<清里区> 717

[維持管理施設]

信越トレイル接続道(梨平峠)、観光案内看板等

[維持管理経費]

需用費 351 (観光看板修繕等)
 委託料 366 (観光施設清掃・整備委託料)

<三和区> 187

[維持管理施設]

東部緑地公園(駐車場)、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 140 (公園管理委託料)
 使用料及び賃借料 47 (観光看板用地等借地料)

<名立区> 983

[維持管理施設]

不動山登山道、観光案内看板等

[維持管理経費]

委託料 983 (名立漁港護岸用地測量業務委託料 495、名立漁港海岸用地調査業務委託料 198、不動山登山道整備業務委託料 290)

決算書 (P 296～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等整備事業		

○目標達成状況

- ・各観光施設を適切に維持管理することで、利用者の受入環境の向上を図るとともに、重大事故の発生がなく、観光誘客と地域振興につなげることができた。

【事業の成果】

- ・各観光施設を定期的に見回り、施設の清掃や遊具の点検などを実施したほか、破損個所を適切に修繕したことで、安全・安心で快適な利用環境を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・海水浴場について、新型コロナウイルス感染症の行動制限緩和等により利用数は回復傾向にあることから、集客に向けた営業や情報提供の在り方を検討する。
- ・施設の定期的な見回りを徹底し、危険個所の修繕や草刈り等を実施することで、安全で快適に利用してもらえるようにする。

【執行残額について】

事業未実施：看板移設工事が不要となったことに伴う執行残 575
 そ の 他：事業実施に伴う執行残 4,205

(単位：千円)

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
578,937	482,728			139,900	7,403 (財源収入、譲収入)	335,425
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	96,209			5,881	90,328	

【目的】

当市を訪れる観光客に安らぎと憩いの場を提供し、市内での長期滞在を促すことにより、市民との交流の促進や域内消費の拡大につなげ、地域の活性化を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

・休止中の施設を除く、指定管理者制度導入13施設の利用者数 745,450人

※指定管理者から令和3年度末に提出された令和4年度の事業計画書に基づく利用者数

<指定管理者制度導入施設 13施設>

- ① 五智歴史の里会館
- ②～④ リフレッシュビレッジ施設 (くわどり湯ったり村、ヨーデル金谷、ゆったりの家)
- ⑤ 安塚雪だるま高原
- ⑥ 牧湯の里深山荘
- ⑦ 柿崎マリンホテルハマナス
- ⑧ 大瀧健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館
- ⑨ 吉川スカイトピア遊ランド
- ⑩ 吉川ゆったりの郷
- ⑪ 板倉保養センター
- ⑫ 忍しんの里記念館
- ⑬ うみてらす名立

<休止中の維持管理施設 1施設>

- ⑭ 大島あさひ荘

<令和4年度中に民間へ譲渡した維持管理施設 1施設>

- ⑮ 三和ネイチャーリングホテル米本陣

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

<① 五智歴史の里会館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	国府1丁目18番28号
設置	平成19年度
構造	木造
面積	延床240㎡
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成19年度
指定管理者	五智歴史の里協議会
指定の期間	令和3年4月1日から令和6年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計画	実績
利用者数	9,500人	11,160人	20,000人	12,440人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予算	実績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	五智歴史の里会館 管理運営委託料	5,960	5,857	5,857	5,857
	その他委託料	-	66	66	60
	エネルギー価格高騰 補填金※1	-	-	158	119
	その他	-	48	284	284
合計	5,960	5,971	6,365	6,320	
③公費投入額(②-①)	5,960	5,971	6,365	6,320	
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)	627	535	318	508	

※1 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

・日常的に経費削減を図りながら、状況に応じて事業計画を変更するなど管理の安定に努めた。

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	-	-	3	17
	五智歴史の里会館管理運営委託料	5,960	5,857	5,857	5,857
	エネルギー価格高騰補填金※1	-	-	-	119
	その他	550	532	649	639
②支出	6,424	6,514	6,674	6,828	
差引(①-②)	86	△125	△165	△196	

※金額は全て税込み

※1 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したものの

<②～④ リフレッシュビレッジ施設>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

くわどり湯ったり村
所在地 大字皆口 601 番地
設置 平成 11 年度
構造 鉄筋コンクリート造
面積 延床 2,524 m²
管理 指定管理

ヨーデル金谷

所在地 大貫 2 丁目 17 番 40 号
設置 平成 11 年度
構造 鉄骨造
面積 延床 400 m²
管理 指定管理

ゆったりの家

所在地 大字横畑 659 番地
設置 平成 14 年度
構造 木造
面積 延床 154 m²
管理 指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	リフレ上越山里振興株式会社
指定の期間	平成 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで ※令和 5 年 6 月 1 日をもって指定取消し

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
くわどり湯ったり村	22,361人	29,379人	39,350人	28,646人
うち	うち宿泊	1,070人	1,850人	2,589人
	うち日帰り温浴	12,742人	19,000人	15,292人
	うち食堂	7,946人	10,154人	9,576人
ヨーデル金谷	16,869人	17,664人	20,500人	17,612人
ゆったりの家	104人	196人	250人	137人
合 計	39,334人	47,239人	60,100人	46,395人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	4,237	3,735	5,741	5,740
	リフレッシュビレッ ジ施設管理運営委託 料	42,933	42,933	65,147	49,936
	その委託料	1,186	1,100	617	-
	使用料及び賃借料	35	35	102	35
	工事請負費	8,404	1,032	1,298	1,296
	備品購入費	-	411	4,529	4,453
	負担金	-	445	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※1	-	-	5,324	4,698
	その他	300	-	-	-
合計	57,095	49,691	82,758	66,158	
③公費投入額 (②-①)	57,095	49,691	82,758	66,158	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	1,452	1,052	1,377	1,426	

※1 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	67,171	82,136	97,010	91,662
	リフレッシュビレッジ施設管理運営委託料	39,030	39,030	65,147	45,397
	エネルギー価格高騰補填金※1	-	-	-	4,698
	その他	22,633	25,057	500	3,544
②支出	121,461	134,424	161,493	141,829	
差引(①-②)	7,373	11,799	1,164	3,472	

※金額は全て税抜き

※指定管理業務に係る収支であり、国の雇用関係助成金の不正受給に係る返還金等は含まない。

※1 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○雇用関係助成金の不正受給に伴う休館

・リフレッシュビレッジ施設の指定管理者であったリフレ上越山里振興株式会社は、新潟労働局から雇用調整助成金及び緊急雇用安定助成金の不正受給を指摘され、39,159千円の返還並びにその2割相当の加算金及び延滞金の請求を受けた。

・これを受け、全容が判明するまでの間、リフレッシュビレッジ施設の臨時休館を行った。

くわどり湯ったり村 : 令和5年1月5日から令和5年3月31日まで

ヨーデル金谷 : 令和5年1月5日から令和5年2月14日まで

ゆったりの家 : 令和5年1月5日から令和5年3月31日まで

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

<⑤ 安塚雪だるま高原>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

キューピットバレイスキー場

所在地	安塚区須川 4820 番地
設置	平成2年度 ※平成11年度から公の施設として管理
構造	鉄骨造(センターハウス、ゴンドラ、リフト)、木造(ビレッジ、久比岐野)
面積	延床 16,126 m ² (センターハウス、ビレッジ、久比岐野等)
管理	指定管理

棚田動植物公園

所在地	安塚区須川 11584 番地
設置	平成15年度
構造	—
面積	—
管理	指定管理

ゆきだるま温泉「久比岐野」

所在地	安塚区須川 2352 番地
設置	平成2年度
構造	木造
面積	延床 1,630 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成16年度
指定管理者	株式会社スマイルリゾート
指定の期間	令和4年4月1日から令和9年3月31日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計画	実績
スキー場(センターハウス)	53,500人	54,600人	65,000人	55,000人
ビレッジ宿泊	—	581人	1,500人	1,341人
雪の湯	—	—	—	—
久比岐野	3,645人	7,218人	9,230人	7,589人
棚田動植物公園	137人	584人	2,000人	697人
ふれあい昆虫館	—	—	—	—
合計	57,282人	62,983人	77,730人	64,627人

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	5,401	5,400
②支出	安塚雪だるま高原 管理運営委託料	15,400	33,897	66,177	47,844
	再算定による 増加額※1	-	10,797	35,818	17,485
	直営期間の施設維持 管理費※2	10,805	-	-	-
	その他委託料	-	-	307	307
	工事請負費	-	-	3,858	3,846
	備品購入費	-	-	8,991	8,811
	負担金	-	944	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	8,009	7,355
	その他	284	114	2	1
	雪国文化村リゾート 推進事業	176,237	106,659	101,430	99,619
合計	202,726	141,614	188,774	167,783	
③公費投入額 (②-①)		202,726	141,614	183,373	162,383
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)		3,539	2,248	2,359	2,513

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 指定管理者の交代に伴い、令和2年4月から6月の間は、市直営で施設の維持管理を行ったもの
- ※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	50,761	66,264	86,323	76,947
	安塚雪だるま高原 管理運営委託料※1	14,000	30,815	27,599	43,494
	再算定による 増加額※1	-	9,815	-	15,895
	エネルギー価格高騰 補填金※2	-	-	-	7,355
	その他	51,893	68,621	81,018	84,812
②支出		131,118	187,615	194,393	209,306
差引 (①-②)		△14,464	△21,915	547	3,302

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

※金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
 なお、令和3年度の指定管理料再算定に当たっては、他の受託業務との一体的な管理による効率化が図られることから、受託業務で発生した収益を加味して算出した。

※2 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・夏期は、人気のグランピングを中心に、キューピットビレッジ利用客の増加による収支改善を図った。
- ・また、冬期間のスキー営業では、一部リフト券等の価格見直しを実施した。このほか、ツリーランエリアやキッズパークの設置に加え、児童、生徒向けの無料スクール等のイベントを開催することで、集客による収支改善を図るとともに、次年度以降の誘客につなげる取組を行った。

○インクルーシブ野外活動推進事業 9,120

- ・インクルーシブ野外活動は、ハンディキャップを持つ人も家族や友人と同じ野外活動の機会と時間を楽しむことができるように工夫する取組である。令和4年度では専用機材を購入し、教員・保護者等を対象とした「障がい者スキープログラム体験会」の開催等により本取組の周知に努めた。また、初めて学校スキー授業において、支援を必要とする児童がクラスメイトと一緒に授業を受けることができ、大きな感動を生んだ。

○多目的トイレ設置 3,846

- ・雪だるま高原をインクルーシブ野外活動の拠点とすることを目指し、センターハウス内のゲレンデへの通用口付近に多目的トイレを設置した。

<⑥ 牧湯の里深山荘>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	牧区宇津俣 285 番地
設置	昭和 61 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 2,929 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 27 年度 (平成 27 年 10 月 1 日から)
指定管理者	株式会社太平堂
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
利用者数	7,166人	8,071人	12,750人	11,111人
うち宿泊	460人	760人	1,000人	1,138人
うち日帰り温浴	3,713人	4,088人	9,550人	4,489人
うち食堂	1,871人	1,979人	2,200人	2,302人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	2,840	3,094	2,800	2,765
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,882	16,229	20,981	20,035
	その他委託料	746	649	-	-
	使用料及び賃借料	453	375	384	375
	工事請負費	4,477	-	-	-
	負担金	-	459	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※1	-	-	1,580	1,579
	その他	94	297	95	94
合計	24,492	21,103	25,840	24,848	
③公費投入額 (②-①)	24,492	21,103	25,840	24,848	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	3,418	2,615	2,027	2,236	

※1 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者の収支状況等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	15,062	19,540	32,118	24,962
	牧湯の里深山荘 管理運営委託料	15,882	16,229	20,981	20,035
	エネルギー価格高騰 補填金※1	-	-	-	1,579
	その他	4,173	5,343	507	2,029
②支出	37,017	40,976	51,373	48,526	
差引 (①-②)	△1,900	136	2,233	79	

※1 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・県民割キャンペーンなど、国や県等の各種助成金を積極的に活用したほか、適切な職員の配置を図った。
- ・経費削減のため、仕入れ業者の選定、光熱費、燃料の削減に取り組んだ。
- ・季節限定メニューを作るなど利用促進に努めた。
- ・インターネット予約サイト「楽天トラベル」を利用し、宿泊客の増加に努めた。

<⑦ 柿崎マリンホテルハマナス>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	柿崎区上下浜 262 番地
設置	平成 6 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,992 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	柿崎総合開発株式会社
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
			計 画	実 績
利用者数	9,074 人	11,499 人	14,670 人	12,071 人
うち宿泊	2,602 人	3,261 人	3,800 人	3,952 人
うち日帰り温浴	2,371 人	3,249 人	3,000 人	3,587 人
うち食堂	3,029 人	4,203 人	4,220 人	3,386 人

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	210	-	58	
②支出	修繕料	12,102	10,053	8,830	8,830
	柿崎マリンホテルハ マナス管理運営委託 料	6,655	27,892	36,590	25,613
	再算定による 増加額※1	-	21,363	-	-
	その他委託料	499	220	197	197
	使用料及び賃借料	111	210	217	210
	工事請負費	3,608	156	-	-
	備品購入費	-	584	-	-
	負担金	-	530	212	212
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	7,691	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	6,811	6,355
その他	108	108	109	108	
合計	30,774	39,753	52,966	41,525	
③公費投入額 (②-①)	30,774	39,543	52,966	41,467	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	3,391	3,439	3,610	3,435	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇したことから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	42,296	54,993	49,700	64,089
	柿崎マリンホテルハマナス管理運営委託料	6,050	25,356	33,263	23,285
	再算定による増加額※1	-	19,421	-	-
	新型コロナウイルス減収補填金※2	7,691	-	-	-
	エネルギー価格高騰補填金※3	-	-	-	6,355
	その他	17,226	10,510	16,700	6,119
②支出	87,115	90,498	99,630	99,249	
差引(①-②)	△13,852	361	33	599	

※金額は全て税抜き

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇したことから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、特定期間を除き毎週水曜日を休館日としたほか、ディナータイムは予約制のコース料理のみにするなど損失額の縮減に努めた。
- ・原価高騰の中、安定的に仕入れられる食材を使い、原価率の低減につなげたほか、先を見通した積極的な仕入れを行い、食材の確保につなげた。

<⑧ 大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大潟区九戸浜 241 番地 8
設置	平成 9 年度
構造	鉄骨造
面積	延床 3,138 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社大潟地域活性化センター
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
利用者数	56,135人	72,992人	83,700人	77,493人
うち日帰り温浴	34,273人	42,892人	47,400人	47,339人
うちプール	5,307人	6,130人	10,200人	6,905人
うち共通	1,142人	1,728人	2,200人	1,628人
うちプール教室	298人	3,939人	1,700人	1,849人
うち各種健康教室	574人	1,370人	1,700人	1,937人
うち食堂等	14,541人	16,933人	20,500人	17,835人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	79	-	-	
②支出	修繕料	19,223	11,198	19,728	19,533
	鵜の浜人魚館管理運営委託料	38,500	42,885	53,807	43,640
	再算定による増加額※1	-	4,385	-	-
	その他委託料	3,444	3,653	3,224	3,224
	使用料及び賃借料	825	836	841	841
	備品購入費	-	-	-	-
	新型コロナウイルス減収補填金※2	6,301	-	-	-
	エネルギー価格高騰補填金※3	-	-	11,677	10,174
	その他	614	286	88	88
合計	68,907	58,858	89,365	77,500	
③公費投入額 (②-①)	68,907	58,779	89,365	77,500	
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	1,228	805	1,068	1,000	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	17,995	26,065	25,292	27,537
	鵜の浜人魚館 管理運営委託料	35,000	38,986	48,915	39,672
	再算定による 増加額※1	-	3,986	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	6,301	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	-	10,174
	その他	24,496	24,732	30,146	26,864
②支出	83,580	89,576	103,992	102,850	
差引(①-②)	212	207	361	1,397	

※金額は全て税抜き

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・営業時間の時短及び一部施設の休止を継続したほか、プールの一般開放を平日の午後のみ営業とし光熱費の節減に努めた。

<⑨ 吉川スカイトピア遊ランド>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区坪野 1458 番地 2
設置	平成 3 年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床 1,405 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社みなもとの郷
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 7 年 3 月 31 日まで

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
利用者数	4,578人	5,437人	7,400人	7,143人
うち宿泊	652人	859人	1,300人	1,474人
うち日帰り	3,926人	4,578人	6,100人	5,669人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	2	-	-	-	
②支出	修繕料	596	2,656	3,438	3,438
	吉川スカイトピア遊 ランド管理運営委託 料	2,517	8,809	11,473	11,473
	再算定による 増加額※1	-	6,442	-	-
	その他委託料	649	176	-	-
	使用料及び賃借料	1,135	1,244	1,063	1,062
	工事請負費	503	-	180	178
	備品購入費	242	-	-	-
	負担金	-	161	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	5,859	-	-	-
エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	888	707	
合計	11,501	13,046	17,042	16,858	
③公費投入額 (②-①)	11,499	13,046	17,042	16,858	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	2,512	2,399	2,506	2,360	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	18,283	20,812	33,350	32,804
	吉川スカイトピア遊 ランド管理運営委託 料	2,517	8,809	10,662	11,473
	再算定による 増加額※1	-	6,442	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	5,859	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	-	707
	その他	5,602	7,602	385	3,312
②支出	33,012	38,112	44,397	48,222	
差引(①-②)	△751	△889	0	74	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・県民割キャンペーンなど、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めつつ、しだれ桜まつりやゲートボール大会などのイベントを開催し、施設の利用促進につなげた。

<⑩ 吉川ゆったりの郷>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	吉川区長峰100番地
設置	平成9年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床3,457㎡
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	株式会社ゆったりの郷
指定の期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
利用者数	74,667人	87,354人	94,200人	110,674人
うち日帰り温浴	42,989人	54,077人	56,000人	68,584人
うち食堂	30,045人	30,835人	36,000人	38,851人
うちゲートボール場	1,363人	1,915人	1,700人	2,557人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	6,547	6,853	12,502	12,386
	吉川ゆったりの郷管 理運営委託料	2,644	15,874	20,818	9,048
	再算定による 増加額※1	-	15,874	-	-
	その他委託料	710	617	-	-
	備品購入費	-	-	2,345	2,345
	工事請負費	3,817	7,247	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	23,218	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	3,867	3,284
	その他	297	297	275	273
合計	37,233	30,888	39,807	27,336	
③公費投入額 (②-①)	37,233	30,888	39,807	27,336	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	499	354	423	247	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	26,680	31,739	34,078	39,621
	吉川ゆったりの郷管 理運営委託料	2,403	14,431	18,925	8,225
	再算定による 増加額※1	-	14,431	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	23,218	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	-	3,284
	その他	53,283	58,489	75,361	66,717
②支出	107,273	104,653	127,270	116,208	
差引(①-②)	△1,689	6	1,094	1,639	

※金額は全て税抜き

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、レストランの営業時間を短縮し、経費節減に努めた。
- ・機械設備のメンテナンスを重視するとともに、故障等の早期発見に努め、可能な限り職員の手による修繕に努めた。

<⑪ 板倉保養センター>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区久々野 1624 番地 1
設置	平成7年度
構造	鉄骨造
面積	延床 1,426 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	黒倉ふるさと振興株式会社
指定の期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
利用者数	21,062 人	29,112 人	32,300 人	32,500 人
うち宿泊	665 人	865 人	900 人	1,299 人
うち日帰り	12,110 人	18,399 人	19,000 人	20,504 人
うち食堂	7,251 人	8,690 人	10,000 人	9,071 人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	2,658	1,676	1,627	1,627
	板倉保養センター管理運営委託料	8,096	20,180	23,546	13,795
	再算定による増加額※1	-	12,084	-	-
	その他委託料	132	143	-	-
	備品購入費	-	259	-	-
	新型コロナウイルス減収補填金※2	10,291	-	-	-
	エネルギー価格高騰補填金※3	-	-	1,658	1,538
その他	-	299	-	-	
合計	21,177	22,557	26,831	16,960	
③公費投入額 (②-①)	21,177	22,557	26,831	16,960	
④利用者1人当たりの公費投入額 (単位:円)	1,005	775	831	522	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	29,170	35,807	43,900	48,085
	板倉保養センター 管理運営委託料	7,360	18,345	21,405	12,541
	再算定による 増加額※1	-	10,985	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	10,291	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	-	1,538
	その他	8,801	6,286	360	2,043
②支出	59,210	60,503	65,665	64,469	
差引(①-②)	△3,588	△65	0	△262	

※金額は全て税抜き

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・県民割キャンペーンなど、国や県等の各種助成金を積極的に活用したほか、営業時間の短縮や冬期間を土日営業とするなど、損失の縮減に努めた。

<⑫ ぬしんの里記念館>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	板倉区米増27番地4
設置	平成17年度
構造	鉄筋コンクリート造
面積	延床1,359㎡
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	一般財団法人ぬしんの里観光公社
指定の期間	令和4年4月1日から令和7年3月31日まで

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
利用者数	4,334人	7,282人	7,200人	8,063人

・指定管理制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	-	-	-	-	
②支出	修繕料	2,695	671	3,613	3,613
	ゑしんの里記念館管理運営委託料	13,110	15,324	16,044	16,044
	再算定による増加額※1	-	2,049	-	-
	その他委託料	159	143	-	-
	使用料及び賃借料	84	63	64	63
	新型コロナウイルス減収補填金※2	1,284	-	-	-
	エネルギー価格高騰補填金※3	-	-	700	596
その他	-	-	-	-	
合計	17,332	16,201	20,421	20,316	
③公費投入額 (②-①)	17,332	16,201	20,421	20,316	
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)	3,999	2,225	2,836	2,520	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			計画	実績	
①収入	利用料金収入	154	257	240	219
	ゑしんの里記念館 管理運営委託料	13,110	15,324	16,044	16,044
	再算定による 増加額※1	-	2,049	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	1,284	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	-	596
	その他	1,506	1,972	843	1,282
②支出	16,054	17,657	17,102	19,290	
差引(①-②)	0	△104	25	△1,149	

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・国や県等の各種助成金を積極的に活用したほか、新たに特産品販売会を開催するなど、損失の縮減に努めた。

<⑬ うみてらす名立>

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	名立区名立大町 4280 番地 1
設置	平成 12 年度
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造
面積	延床 8,605 m ²
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	株式会社 BJ・株式会社ゆめ企画名立
指定の期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで

決算書 (P298～P299)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			計 画	実 績
利用者数	202,190人	229,780人	336,000人	281,390人
うち健康交流館「ゆらら」	68,438人	82,455人	101,000人	100,078人
うち交流促進施設「光鱗」	6,776人	7,586人	9,000人	11,330人

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
			予 算	実 績	
①収入	67	9,971	66	76	
②支出	修繕料	7,478	12,964	8,526	8,526
	うみてらす名立 管理運営委託料	39,600	95,565	67,100	59,281
	再算定による 増加額※1	-	55,965	-	-
	その他委託料	9,968	9,835	8,080	8,079
	使用料及び賃借料	1,244	2,750	2,015	2,007
	工事請負費	-	62,062	17,911	14,082
	備品購入費	164	575	3,652	3,652
	負担金	47	464	47	47
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	54,834	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	14,251	13,683
その他	330	1,146	331	330	
合計	113,665	185,361	121,913	109,687	
③公費投入額 (②-①)	113,598	175,390	121,847	109,611	
④利用者1人当たりの 公費投入額 (単位:円)	562	763	363	390	

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額

※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○指定管理者の収支状況等

区分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度		
			計 画	実 績	
①収入	利用料金収入	280,484	304,166	423,207	417,544
	うみてらす名立管理 運営委託料	36,000	86,877	61,000	53,892
	再算定による 増加額※1	-	50,877	-	-
	新型コロナウイルス 減収補填金※2	54,834	-	-	-
	エネルギー価格高騰 補填金※3	-	-	-	12,439
	その他	17,993	7,716	1,000	4,882
②支出	390,241	398,450	485,193	482,390	
差引 (①-②)	△930	309	14	6,367	

※金額は全て税抜き

- ※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理施設について、収支実績に基づき指定管理料を再算定し、増額した額
- ※2 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの
- ※3 エネルギー価格の高騰に伴い、電気及び都市ガス料金が急激に上昇していることから、協定に基づき増加分を補填したもの

○指定管理者による収支改善等の取組

- ・県民割キャンペーンなど、国や県等の各種助成金を積極的に活用した。
- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、閑散期の休館日を増やしたほか、一部飲食コーナーの休業、物販の営業時間短縮等を行い、損失額の縮減に努めた。

<⑭ 大島あさひ荘>

○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理者の経営破綻により平成 24 年 3 月 1 日から平成 25 年 6 月 30 日まで休館
- ・平成 25 年 7 月 1 日から新たな指定管理者を指定し、宿泊部門を除いて営業を再開したが平成 26 年 12 月をもって指定管理者の指定を取り消し、平成 27 年 1 月から休止
- ・施設休止後、必要な管理を行い、施設の維持保全に努めてきた。
- ・公の施設の適正配置計画に基づき、令和 4 年度末をもって施設を廃止
- ・なお、令和 3 年 3 月の強風により浴室棟の屋根が破損する中、今後の維持保全が困難と判断し、令和 5 年度中の除却を見込んでいる。

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○施設の管理実績

・施設における市の収支状況

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
			予 算	実 績
①収入	-	-	-	-
②支出	修繕料	-	-	-
	その他委託料	813	517	2,024
	その他	-	-	-
	合計	813	517	2,024
③公費投入額 (②-①)	813	517	2,024	947
④利用者 1 人当たりの 公費投入額(単位：円)	-	-	-	-

<⑮ 三和ネイチャーリングホテル米本陣>

○実施内容、これまでの経過等

- ・指定管理者の辞退の申出を受け、令和 3 年 3 月 31 日をもって指定管理者の指定を取り消し、令和 3 年 4 月 1 日から休止
- ・施設休止後、必要最低限な管理を行い、施設の維持管理に努めた。
- ・令和 4 年 9 月に施設を廃止し、株式会社 A G R I C A R E に譲渡

○施設の管理実績

・施設における市の収支状況

区 分	令和 2 年度	令和 3 年度※	令和 4 年度※	
			予 算	実 績
①収入	-	43	-	22
②支出	修繕料	1,417	830	75
	三和ネイチャーリング ホテル米本陣管理 運営委託料	2,750	-	-
	その他委託料	150	1,220	5,338
	使用料及び賃借料	295	295	1
	新型コロナウイルス 減収補填金※1	21,356	-	-
	その他	189	1,241	847
	合計	26,157	3,586	6,261
③公費投入額 (②-①)	26,157	3,543	6,261	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額(単位：円)	5,059	-	-	

※指定管理者の指定取り消しに伴い、令和 3 年度以降は市直営で施設の維持管理を行ったもの

※1 新型コロナウイルス感染症の影響により利用料金収入等が減少した指定管理者に対し、協定に基づいて減収分を補填したもの

決算書 (P 298～P 299)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光施設等管理事業		

○目標達成状況

- ・休止施設を除く 13 施設の利用者数の合計は、目標に対して 81,543 人少ない 663,907 人となり、目標を達成できなかった。
(目標達成率：89%、目標達成：4 施設、目標未達成：9 施設)

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症による損失を抑制するため、閑散期の休館日を増やしたほか、営業時間短縮等で経費の縮減を図り、損失額の縮減に努めた結果、影響を最小限に抑えることができた。
- ・また、まつりやゲートボール大会など指定管理者によるイベントの開催を通じて、新たな利用者の獲得につなげることができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染症の位置づけが 5 類感染症になり、インバウンドを含め旅行客の増加が見込まれることから、適切な維持管理に努めながら、利用者の増加につながるような取組を実施していく。
- ・また、施設の老朽化に伴い、修繕や改修に多額の公費負担が生じていることから、今後の施設の在り方について、地域住民等と十分な協議をしながら、施設の方向性の検討を進めていく必要がある。

【執行残額について】

入札差金：委託及び工事等の入札又は見積合わせに伴う執行残	5,881
その他：指定管理料の収入実績等に基づく精算に伴う執行残	84,975
補填金の収入実績等に基づく精算に伴う執行残	4,835
修繕料、電信電話料、借上料等の事業実績に伴う執行残	518

(単位：千円)

決算書 (P300～P301)	7款1項5目 観光物産センター費	所管課等	観光振興課 (令和4年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光物産センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
24,016	21,727				3,733 (使用料、財産収入、 譲収入)	17,994
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	2,289		121		2,168	

【目的】

市内事業者による貸館利用や姉妹都市の観光と物産展の開催など、観光客や市民に対し特産品等の展示・販売を行う施設として管理するとともに、観光施設のパフレット、イベントチラシ等による観光情報の発信を行い、誘客促進を図る。

令和4年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和4年度目標

- ・貸館利用回数：330回
- ・利用者数：45,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地 大字藤野新田 175 番地 1
 設置 平成3年度
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造2階建て
 施設内容 大ホール：592㎡、中ホール：157㎡、会議室：111㎡
 ふるさとコーナー、事務室
 面積 延床 2,463.59㎡
 管理 直営（業務委託）
 利用形態 貸館施設

・観光物産センターのにぎわい創出

新型コロナウイルス感染症の影響が継続しているが、規模を縮小して開催した「姉妹都市と上越市の観光と物産展」の会場として使用するなど、施設の誘客促進を図った。

・観光情報コーナーの充実及びパンフレットの更新

新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったイベントもあったが、市内の観光施設・観光資源や姉妹都市・友好交流都市を紹介したパンフレットを取りそろえるなど、観光情報発信機能の向上に努めた。

決算書 (P 300～P 301)	7 款 1 項 5 目 観光物産センター費	所管課等	観光振興課 (令和 4 年度所管は施設経営管理室)
事業名	観光物産センター管理運営費		

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
				目 標	実 績
利用者数		23,174 人	36,296 人	45,000 人	40,994 人
貸館利 用回数	大ホール	74 回	87 回	120 回	41 回
	中ホール	51 回	68 回	70 回	61 回
	会議室	64 回	103 回	140 回	90 回
	計	189 回	258 回	330 回	192 回

・施設管理における市の収支状況

区 分		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	2,690	4,110	6,335	3,624
	その他	89	85	240	109
	合計	2,779	4,195	6,575	3,733
②支出	施設維持管理費	24,481	22,660	24,016	21,727
	うち委託料	10,325	10,676	10,889	10,889
	その他	-	-	-	-
	合計	24,481	22,660	24,016	21,727
③公費投入額 (②-①)		21,702	18,465	17,441	17,994
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		936	509	388	439

○目標達成状況

- ・利用者数、貸館利用回数ともに目標を達成できなかったが、利用者数は令和 3 年度に比べ 4,698 人増加となる 40,994 人となった。

【事業の成果】

- ・観光情報コーナーを充実させたほか、パンフレットを更新するなど、観光拠点施設として一定の役割を果たすことができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・令和 4 年度末から休止したが、民間事業者による利活用の提案があることから、民間事業者での活用に向け手続きを進める。

【執行残額について】

事業未実施：広告掲載見送りに伴う執行残 121
 そ の 他：施設休止を見据えた修繕見送りに伴う執行残 972
 事業実施に伴う執行残 1,196